

6.1.4 生物環境の状況

1. 植物

(1) 植物相の状況

仙台市の植物相は、市域が海岸から奥羽山脈まで広がっているため、高山～亜高山帯の植物から暖地系の植物まで多様である。また、仙台市は太平洋側に位置するが、多雪の日本海側の地域に特徴的な日本海要素の植物も生育しており、日本海要素の植物は主に山地帯以高（標高約 400m 以上）に分布するが、種によっては海岸近くまで分布している。

「東北地方太平洋沿岸地域 重要自然マップ 2015」（環境省、平成 28 年）によると、調査範囲は「七北田川河口域」に位置しており、七北田川沿いにはヨシが分布している。七北田川河口部の北側には蒲生干潟があり、ハママツナ、ハマナス、アイアシ等の塩生植物がみられる。七北田川河口部の南側には、海岸沿いに海岸林がみられるほか、ハマナス、ハマニガナ、ハマボウフウ等が分布している。

(2) 注目すべき種の状況

調査範囲内における注目すべき植物種の状況は、以下に示す文献から整理した。具体的には、これら文献に掲載されている種のうち、第 6.1-44 表に示す選定基準に該当するものを注目すべき種として整理した。文献①及び文献②については、仙台市全域を対象としていることから、地域区分が「市街地地域」とされている減少種（第 6.1-45 表参照）または、種の分布地として調査範囲内の地域（蒲生、宮城野区港、岡田、荒井、荒浜等）が示されている学術上重要種及び環境指標種等を抽出した。文献③～⑤については、蒲生地区で確認された種を対象として、それぞれ注目すべき種を抽出した。

整理した結果は第 6.1-46 表(1)～(4)に示すとおりであり、調査範囲内における注目すべき種数は 142 種であった。

- ①「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成 23 年）
- ②「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成 29 年）
- ③「平成 27 年度 東北地方太平洋沿岸地域植生・海域等調査報告書」（環境省、平成 28 年）
- ④「仙台湾海浜県自然環境保全地域学術調査報告書」（宮城県、平成 14 年）
- ⑤「宮城県植物誌」（宮城植物の会、平成 29 年）

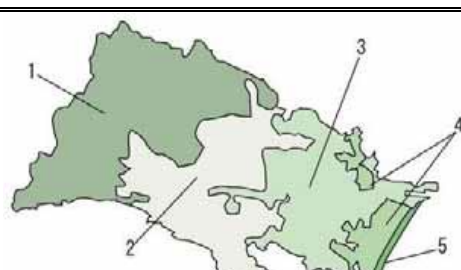
第6.1-44表 注目すべき種の選定基準

判断基準	記号等	説明	
仙台市における保全上重要な種の区分	学術上重要種	1	仙台市においてもともと稀産あるいは希少である種。あるいは生息地・生育地がごく限られている種。
		2	仙台市周辺地域が分布の北限、南限となる種。
		3	仙台市が模式産地（タイプロカリティー）となっている種。
		4	1、2、3には該当しないが、各分類群において、注目に値すると考えられる種（継続的に観察・研究されている種など）
	減少種	EX	絶滅。過去に仙台市に生息したことが確認されており、飼育・栽培下を含め、仙台市では既に絶滅したと考えられる種。
		EW	野生絶滅。過去に仙台市に生息していたことが確認されており、飼育・栽培下では存続しているが、野生ではすでに絶滅したと考えられる種。
		A	現在ほとんど見ることができない、あるいは近い将来ほとんど見ることができなくなるおそれがある種。
		B	減少が著しい、あるいは近い将来著しい減少のおそれがある種。
		C	減少している、あるいは近い将来減少のおそれがある種。
		+	普通に見られる、あるいは当面減少のおそれがない種。
		/	もともと生息・生育しない可能性が非常に大きい。
		・	判断に資する情報がない。
	環境指標種	○	本市の各環境分類における環境を指標する種。（ビオトープやミティゲーションにおける計画・評価のための指標。）
レッドデータ等	国 RL 「環境省レッドリスト2019」（環境省、平成31年）掲載種	EX	絶滅
		EW	野生絶滅
		CR	絶滅危惧ⅠA類
		EN	絶滅危惧ⅠB類
		VU	絶滅危惧Ⅱ類
		NT	準絶滅危惧
		DD	情報不足
		LP	絶滅のおそれのある地域個体群
	県 RDB 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（宮城県、平成28年）掲載種	EX	絶滅
		EW	野生絶滅
		CR+EN	絶滅危惧類
		VU	絶滅危惧Ⅱ類
		NT	準絶滅危惧
		DD	情報不足
		要	要注目種
	文化財保護法の保存法	特天	『文化財保護法』（昭和25年法律第214号）における特別天然記念物
		天記	『文化財保護法』（昭和25年法律第214号）における天然記念物
		国内	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）』（平成4年法律第75号）における国内希少野生動植物
		国際	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）』（平成4年法律第75号）における国際希少野生動植物

注：1. 仙台市における保全上重要な種の区分は、「平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（仙台市、平成29年）による。
2. 記号等の記載は、第6.1-46表(1)～(3)及び第6.1-54表～第6.1-60表に示す注目すべき種の選定基準に該当する。

第6.1-45表 減少種の地域区分

番号	地域区分
1	山地地域
2	西部丘陵地・田園地域
3	市街地地域
4	東部田園地域
5	海浜地域（後背の樹林も含む）



注：調査範囲は、「3 市街地地域」に該当する。
出典：「平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（仙台市、平成29年）
「杜の都環境プラン 仙台市環境基本計画 2011-2020」〔改定版〕（仙台市、平成28年）

第 6.1-46 表(1) 注目すべき植物

No.	科名	種名	文献					学術上重要種	仙台市重要種区分					国 RL	県 RDB	文化財保護法・種の保存法	分布地
			①	②	③	④	⑤		減少種								
									山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域	海浜地域				
1	トクサ	イヌスギナ	○				○		・	B	・	B	・				岡田中、中野
2	イノモトソウ	オオバノイノモトソウ	○	○				1,2	・	B	C	C	・				
3	オシダ	リョウメンシダ	○						・	B	・	・	・	○			荒浜
4		オシダ	○	○			○		・	B	・	・	・				蒲生
5		イワシロイノデ	○	○			○		・	B	・	・	・				蒲生、荒浜
6		ジュウモンジシダ	○	○			○		・	B	・	・	・	○			蒲生
7	ヒメシダ	ヒメワラビ	○	○				2	・	B	B	B	・				
8	メシダ	クサソテツ	○						・	B	・	C	・				荒浜
9	デンジソウ	デンジソウ	○												VU	EW	
10	サンショウモ	サンショウモ	○	○				1	EX	EX	EX	EX	EX		VU	NT	
11	マツ	モミ	○	○					・	C	・	・	・	○			荒浜
12	クルミ	オニグルミ	○	○	○	○	○		・	B	B	B	・	○			
13	ヤナギ	ネコヤナギ	○	○				4	・	C	C	・	・	○			
14		キツネヤナギ				○			・	C	・	・	・	○			
15	カバノキ	ハンノキ	○	○		○	○	1,4	・	C	・	B	C	○			岡田、蒲生
16		ウダイカンバ	○					4	C	C	・	・	・				荒浜
17		イヌシデ	○	○		○		4	C	B	・	・	C	○			荒浜
18	ブナ	アカガシ	○	○				2	・	C	C	C	C	○			
19		アオナラガシワ	○	○			○	1	・	・	・	・	・				蒲生
20		ミズナラ	○						C	B	・	・	・				荒浜
21		シラカシ	○	○		○		2	・	C	C	C	/	○			岡田
22		ウラジログシ	○	○				2	・	C	C	C	/				
23	ニレ	エノキ	○	○		○		4	・	B	B	B	・				岡田
24		ケヤキ	○	○			○		C	C	B	B	・	○			
25	イラクサ	トキホコリ	○	○				1	・	B	B	・	・		VU	VU	
26	タデ	イヌタデ			○		○		・	・	・	・	・	○			
27		サデクサ		○				1	・	・	・	C	・			NT	荒浜
28		ミゾソバ	○	○					・	C	B	C	・	○			蒲生
29	ナデシコ	カワラナデシコ	○	○		○	○		・	C	・	・	C				荒浜
30	アカザ	ハマツツナ	○	○	○		○	2	・	・	・	・	B	○		NT	蒲生
31	クスノキ	シロダモ	○	○	○	○	○	2	・	+	・	+	+	○			蒲生、荒浜
32	キンボウゲ	ヒメキンボウゲ	○				○								VU	CR+EN	
33		コキツネノボタン	○	○				1	・	・	・	・	・		VU	VU	若林区荒井大沼
34	スイレン	オニバス	○	○				1	EX	EX	EX	EX	EX		VU	EX	大沼
35	ドクダミ	ハンゲショウ		○					・	・	・	・	B		VU		蒲生
36	ツバキ	ヤブツバキ	○	○			○		・	B	B	B	B	○			蒲生
37	アブラナ	ナズナ	○	○			○		・	B	B	B	・	○			岡田中、蒲生、天神沢
38		ミズタガラシ		○			○		・	・	・	B	・			VU	岡田
39	ユキノシタ	タコノアシ		○			○		・	B	・	C	・		NT		蒲生～岡田
40		ユキノシタ	○	○					・	B	B	・	・				荒浜
41	バラ	カスミザクラ			○	○			・	C	・	・	・	○			
42		ハマナス	○	○	○		○	4	・	・	・	・	B	○		NT	蒲生

注：1. 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 30 年度生物リスト」(国土交通省、平成 30 年)に準拠した。

2. 表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成 22 年度 自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(仙台市、平成 23 年)
- ②「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(仙台市、平成 29 年)
- ③「平成 27 年度 東北地方太平洋沿岸地域植生・海域等調査調査報告書」(環境省、平成 28 年)
- ④「仙台湾海浜県自然環境保全地域学術調査報告書」(平成 14 年、宮城県)
- ⑤「宮城県植物誌」(平成 29 年、宮城植物の会)

3. 表中の分布地は、文献①及び②に記載されている分布地を示す。

4. 減少種の地域区分については、第 6.1-45 表を参照。

5. 文献①の掲載種は、当時の国 RL 及び県 RDB に基づくランク等が示されているが、文献①発行後に国 RL 及び県 RDB が改正されているため、文献①の記載と本表の記載は必ずしも一致しない。

第 6.1-46 表(2) 注目すべき植物

No.	科名	種名	文献					仙台市重要種区分					国 RL	県 RDB	文化財保護法・種の保存法	分布地	
			①	②	③	④	⑤	学術上重要種	減少種								環境指標種
									山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域					
43	バラ	カジイチゴ	○	○			○	1,2	・	・	・	C	C				岡田、蒲生、荒浜
44	マメ	タヌキマメ	○	○					EX	EX	EX	EX	EX		CR+EN		
45		ツクシハギ				○	○		・	B	・	B	・	○			
46		イヌハギ	○					1	・	・	・	・	・		VU	NT	宮城野区港
47		マキエハギ					○	1								NT	
48		センダイハギ	○	○			○	1	・	・	・	・	B		CR+EN		岡田、荒浜
49	トウダイグサ	ノウルシ		○			○		・	・	・	C	・		NT	要	岡田、蒲生、荒井、荒浜
50	ユズリハ	ユズリハ	○	○				1,2	・	C	・	C	C				荒浜
51	ミカン	ミヤマシキミ	○	○				1	・	C	・	・	C				荒浜
52	トチノキ	トチノキ	○	○					C	C	・	・	・				荒浜
53	モチノキ	イヌツゲ	○	○	○	○	○		・	C	・	・	C				蒲生、荒浜
54		モチノキ					○									要	
55	ヒシ	ヒシ			○				・	B	・	B	・	○			
56	ミズキ	アオキ	○	○					・	C	C	C	C	○			
57	セリ	ハマボウフウ	○	○		○	○	1	・	・	・	・	C				蒲生
58	イチヤクソウ	ウメガサソウ	○			○			・	C		C	C	○			岡田新浜
59		ベニサイイチヤクソウ	○	○				1	・	・	・	・	・				荒浜
60	ツツジ	ヤマツツジ	○	○		○	○		・	C	C	・	C	○			
61		ナツハゼ	○	○	○	○	○		・	C	・	・	・				荒浜
62	ヤブコウジ	ヤブコウジ	○	○	○	○	○		・	・	・	・	・	○			荒浜海岸公園
63	サクラソウ	ウミミドリ				○									CR+EN		
64	モクセイ	イボタノキ			○	○			・	B	・	・	・	○			
65	リンドウ	イヌセンブリ	○	○				1	・	・	・	・	・		VU	VU	岡田、荒浜
66	ミツガシワ	ヒメシロアサザ	○	○				1	・	・	・	A	・		VU	VU	荒浜
67	ヒルガオ	ハマヒルガオ	○	○	○	○	○		・	・	・	・	B	○			中野、荒浜
68	シソ	ヒメハッカ	○	○				1	・	・	・	B	・		NT	CR+EN	荒浜
69		ナミキソウ					○		・	・	・	・	C			NT	
70	ゴマノハグサ	オオアブノメ	○	○				1	・	・	・	B	・		VU	要	荒井
71		ウンラン	○	○	○	○	○		・	・	・	・	C				蒲生、荒浜
72		サギゴケ		○					・	C	・	C	・	○			岡田、荒浜
73		イヌノフグリ	○	○				1	・	・	B	・	・		VU	VU	
74		カワヂシャ	○	○				1	・	・	B	B	・		NT	NT	宮城野区蒲生、若林区荒井大沼
75	タヌキモ	イヌタヌキモ					○	1	・	B	・	・	・		NT	VU	
76		ミミカキグサ		○			○		・	・	・	A	・		CR+EN		蒲生
77		フサタヌキモ	○	○				1	EX	EX	EX	EX	EX		EN	EX	大沼
78	オオバコ	オオバコ	○	○	○	○	○		・	・	・	・	・	○			蒲生、荒浜

注：1. 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 30 年度生物リスト」(国土交通省、平成 30 年)に準拠した。

2. 表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成 22 年度 自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(仙台市、平成 23 年)
- ②「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(仙台市、平成 29 年)
- ③「平成 27 年度 東北地方太平洋沿岸地域植生・海域等調査調査報告書」(環境省、平成 28 年)
- ④「仙台湾海浜県自然環境保全地域学術調査報告書」(平成 14 年、宮城県)
- ⑤「宮城県植物誌」(平成 29 年、宮城植物の会)

3. 表中の分布地は、文献①及び②に記載されている分布地を示す。

4. 減少種の地域区分については、第 6.1-45 表を参照。

5. 文献①の掲載種は、当時の国 RL 及び県 RDB に基づくランク等が示されているが、文献①発行後に国 RL 及び県 RDB が改正されているため、文献①の記載と本表の記載は必ずしも一致しない。

第 6.1-46 表(3) 注目すべき植物

No.	科名	種名	文献					学術上重要種	仙台市重要種区分					国 RL	県 RDB	文化財保護法・種の保存法	分布地
			①	②	③	④	⑤		減少種								
									山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域	海浜地域				
79	オミナエシ	オミナエシ	○	○				・	B	・	B	・	○			岡田、荒浜	
80	キク	キッコウハグマ	○		○	○		・	B	・	・	・	○			荒浜	
81		シロヨモギ				○									CR+EN		
82		フジバカマ		○				・	C	C	・	・		NT		荒井	
83		ノニガナ		○				・	・	C	・	・			NT		
84		カワラニガナ		○				・	・	B	・	・		NT	VU		
85		アキノキリンソウ	○	○	○	○		・	C	・	・	・	○			荒浜	
86		アオヤギバナ		○				・	・	B	・	・			VU		
87		エゾタンポポ	○	○				・	C	B	B	C	○			岡田	
88		オナモミ				○		・	B	・	・	・		VU	VU		
89	オモダカ	オモダカ	○					・	C	・	B	・	○			東部田園地区の水田	
90	トチカガミ	ミズオオバコ					○	1	・	B	・	B	・	VU	NT		
91	ホロムイソウ	オオシバナ	○	○				1	・	・	・	・	B	○	NT	CR+EN	蒲生
92	ヒルムシロ	イトモ	○	○				1	・	C	・	B	・		NT	要	蒲生、荒浜
93		エビモ	○						・	B	・	B	・	○			荒浜
94		ヒルムシロ					○		・	C	・	B	・	○			
95		カワツルモ					○								NT	VU	
96	イバラモ	サガミトリゲモ	○	○				1	・	・	・	・	・		VU	VU	若林区荒井
97	ユリ	ヤマラッキョウ		○					・	・	B	・	・		VU		
98		カタクリ	○	○					・	B	B	B	・				
99		ニッコウキスゲ	○	○					・	B	B	B	・				
100		ヒメヤブラン	○	○	○	○			・	C	・	・	+	○			荒浜
101		オオバジャノヒゲ			○		○		・	B	・	・	C				
102		ヒメイズイ					○		・	・	・	・	C			NT	
103	キンバイザサ	コキンバイザサ	○	○				1,2	EX	EX	EX	EX	EX			EX	
104	ミズアオイ	コナギ	○	○	○				・	・	・	C	・	○			荒井
105	アヤメ	ノハナショウブ	○	○			○	1	・	C	・	・	・	○			蒲生
106		ヒメシヤガ	○	○					・	B	B	・	・	○	NT	NT	
107	イグサ	ヒメコウガイゼキショウ		○			○		・	・	・	・	B			VU	蒲生
108	イネ	ヤマアワ	○		○	○			・	B	・	・	B				港
109		ヒナザサ		○					・	B	B	・	・		NT	VU	
110		メヒシバ	○	○	○	○	○		・	・	・	・	・	○			蒲生、荒井
111		ハマニンニク	○	○	○	○	○	1,4	・	・	・	・	C	○			蒲生から名取川河口まで
112		カゼクサ	○	○	○	○	○		・	B	C	C	・	○			蒲生、荒浜
113		オオウシノケグサ	○			○		4	・	B	・	B	C	○			藤塚貞山堀
114		ウキガヤ		○					・	・	C	C	・			NT	
115		ケカモノハシ	○	○	○	○	○		・	・	・	・	B	○			蒲生、中野
116		カモノハシ	○	○		○	○	1	・	・	・	・	B				岡田、荒浜
117		オギ	○	○	○	○			・	C	C	C	C	○			岡田
118		アイアシ	○	○	○	○	○	1	・	・	・	・	C	○		NT	七北田川、蒲生
119		ヨシ	○	○	○	○			・	C	C	C	C	○			蒲生海岸、荒浜

注：1. 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 30 年度生物リスト」(国土交通省、平成 30 年)に準拠した。

2. 表中の文献は以下のとおりである。

- ① 「平成 22 年度 自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(仙台市、平成 23 年)
- ② 「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(仙台市、平成 29 年)
- ③ 「平成 27 年度 東北地方太平洋沿岸地域植生・海域等調査調査報告書」(環境省、平成 28 年)
- ④ 「仙台湾海浜県自然環境保全地域学術調査報告書」(平成 14 年、宮城県)
- ⑤ 「宮城県植物誌」(平成 29 年、宮城植物の会)

3. 表中の分布地は、文献①及び②に記載されている分布地を示す。

4. 減少種の地域区分については、第 6.1-45 表を参照。

5. 文献①の掲載種は、当時の国 RL 及び県 RDB に基づくランク等が示されているが、文献①発行後に国 RL 及び県 RDB が改正されているため、文献①の記載と本表の記載は必ずしも一致しない。

第 6.1-46 表(4) 注目すべき植物

No.	科名	種名	文献					学術上重要種	仙台市重要種区分					国 RL	県 RDB	文化財保護法・種の保存法	分布地	
			①	②	③	④	⑤		減少種									
									山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域	海浜地域					環境指標種
120	イネ	ツルヨシ	○	○				・	C	C	C	・	○					
121		スズダケ				○		・	C	・	・	・	○					
122		ネズミノオ	○	○		○	○		・	・	・	C	・	○			岡田、蒲生干潟、荒浜、貞山堀	
123		マコモ			○				・	B	・	B	・	○				
124		シバ	○	○	○	○			・	B	B	B	・	○				
125	サトイモ	ヒメザゼンソウ	○						・	B	・	C	・					
126	ミクリ	ミクリ	○	○	○		1	・	B	・	B	・	○	NT	NT		荒井	
127	ガマ	ヒメガマ	○	○	○		○		・	C	C	C	・					
128		ガマ	○	○					・	C	C	C	・	○			荒井	
129	カヤツリグサ	コウボウムギ	○	○	○	○	○		・	・	・	・	B	○			蒲生、荒浜	
130		マメスゲ	○	○				1	・	・	・	・	・		CR+EN		岡田など	
131		オオクグ					○	1	・	・	・	・	B		NT	NT		
132		センダイスゲ	○	○				4	・	・	・	・	・				荒浜	
133		スジヌマハリイ	○	○				1	・	・	・	・	・		VU	VU		荒浜
134		ナガボテンツキ				○		2	・	・	・	・	・			VU		
135		フトイ					○			・	B	・	B	・				
136		サンカクイ	○	○	○					・	B	・	B	・				荒井
137	ラン	セッコク	○	○			1	EX	EX	EX	EX	EX			CR+EN			
138		ハマカキラン	○	○		○	1	・	・	・	・	B		VU	NT		蒲生、荒浜	
139		クモキリソウ	○	○				1、4	・	B	・	・	B				岡田	
140		ヤマトキシソウ		○					・	A	A	・	・		CR+EN			
141		マツラン	○	○				1	・	B	・	・	B		VU	CR+EN		蒲生
142		ネジバナ			○	○				・	B	・	B	・	○			
64 科		142 種	102 種	103 種	33 種	43 種	51 種	55 種	135 種	135 種	134 種	135 種	135 種	58 種	32 種	55 種	0 種	

注：1. 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 30 年度生物リスト」(国土交通省、平成 30 年)に準拠した。

2. 表中の文献は以下のとおりである。

- ① 「平成 22 年度 自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(仙台市、平成 23 年)
- ② 「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(仙台市、平成 29 年)
- ③ 「平成 27 年度 東北地方太平洋沿岸地域植生・海域等調査調査報告書」(環境省、平成 28 年)
- ④ 「仙台湾海浜県自然環境保全地域学術調査報告書」(平成 14 年、宮城県)
- ⑤ 「宮城県植物誌」(平成 29 年、宮城植物の会)

3. 表中の分布地は、文献①及び②に記載されている分布地を示す。

4. 減少種の地域区分については、第 6.1-45 表を参照。

5. 文献①の掲載種は、当時の国 RL 及び県 RDB に基づくランク等が示されているが、文献①発行後に国 RL 及び県 RDB が改正されているため、文献①の記載と本表の記載は必ずしも一致しない。

仙台市の「杜の都の環境をつくる条例」に基づく「保存樹木」、「保存樹林」、「保存緑地」及び多賀城市の「多賀城市樹木の保存に関する要綱」に基づく「保存樹木」の調査範囲における保存樹木は第 6. 1-47 表及び第 6. 1-24 図に示すとおりである。

調査範囲には「保存樹木」が存在するが、計画地及びその周辺には存在しない。また、「保存樹林」及び「保存緑地」は、計画地及びその周辺には存在しない。

第 6. 1-47 表 保存樹木

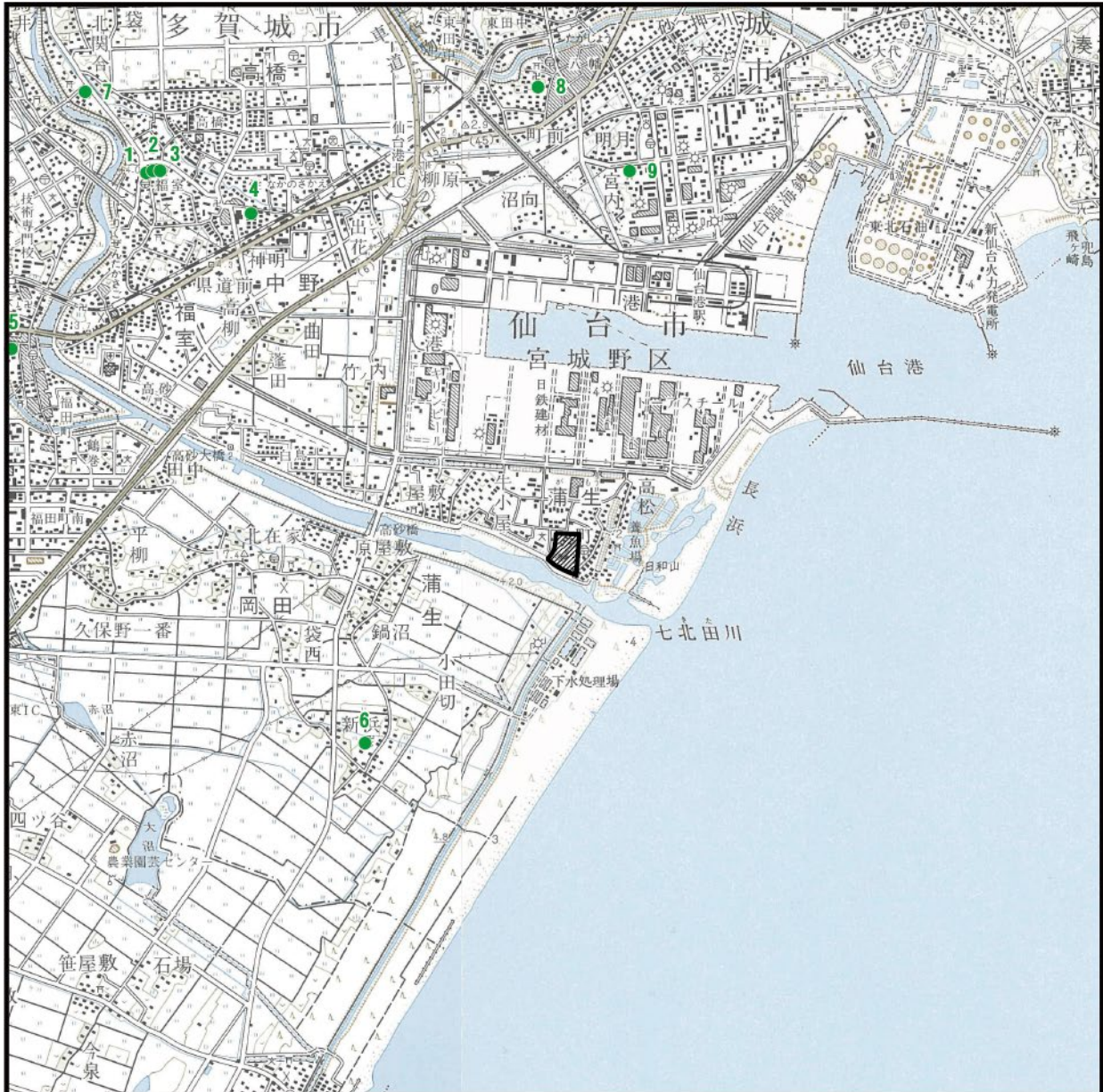
No.	市	名 称	樹 種	所有者	推定樹齢(年)	樹高(m)	幹周(m)
1	仙 台 市	西光寺の杉	スギ	西光寺	350	25.0	2.5
2		西光寺のぎんもくせい	ギンモクセイ	西光寺	350	5.8	株立
3		西光寺のあらかし	アラカシ	西光寺	350	6.5	2.1
4		栄のぎよりゅう	ギョリュウ	個人所有	130	4.0	1.9
5		福田町の黒松	クロマツ	個人所有	350	5.8	1.3
6		照徳寺のいちょう	イチョウ	照徳寺	350	20.0	5.1
7	多 賀 城 市	新田のひいらぎ	ヒイラギ	個人所有	220	8.20	1.34
8		末の松山の黒松	クロマツ	多賀城市	470	18.80	3.48
9		八幡神社の高野槇	コウヤマキ	八幡神社	420	24.65	4.53

注：表中の No. は第 6. 1-24 図の番号に対応する。

出典：「杜の都の名木・古木」（仙台市、平成 29 年）

「保存樹木」（多賀城市HP、閲覧：平成 31 年 2 月）

第 6.1-24 図 保存樹木



凡 例



計画地



保存樹木 (1~9)

出典：「杜の都の名木・古木」
(仙台市、平成 29 年)

「保存樹木」
(多賀城市HP、閲覧：平成 31 年 2 月)

1:50,000



(3) 植生の状況

調査範囲の現存植生は第 6.1-25 図(1)～(2)に示すとおりであり、計画地及びその周辺は「路傍・空地雑草群落」となっている。

「平成 27 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託」(仙台市、平成 28 年)では、環境省の植生自然度 9、10 (自然植生) に該当する植生を「自然性の高い植生」として位置づけている。調査範囲における自然性の高い植生の分布は第 6.1-26 図に示すとおり、七北田川沿い、大沼などの沼の周辺などに分布している。

なお、植生自然度の区分基準は第 6.1-48 表のとおりである。

第 6.1-48 表 植生自然度の区分基準

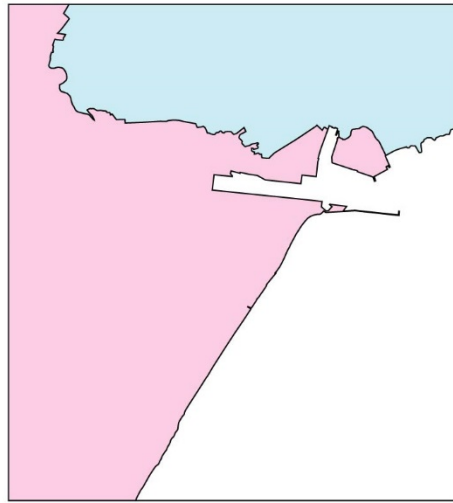
植生自然度	区 分 基 準
10	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区
9	エゾマツトドマツ群集、ブナ群集等、自然植生のうち多層の植物社会を形成する地区
8	ブナ・ミズナラ再生林、シイ・カン萌芽林等、代償植生であっても、特に自然植生に近い地区
7	クリーミズナラ群落、クスギーコナラ群落等、一般には二次林と呼ばれる代償植生地区
6	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地
5	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原
4	シバ群落等の背丈の低い草原
3	果樹園、桑畑、茶畑、苗圃等の樹園地
2	畑地、水田等の耕作地、緑の多い住宅地
1	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

出典：「平成 27 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託」(仙台市、平成 28 年)
「自然環境保全基礎調査」(環境省HP、閲覧：平成 31 年 2 月)

第 6.1-25 図(1) 現存植生図



第 6.1-25 図(2) 現存植生図



仙台市

仙台市以外(多賀城市、七ヶ浜町の一部)

凡例色 凡例番号 凡例名

12	ヤナギ低木群落 (IV)
18	落葉広葉低木群落
19	ススキ群団 (V)
23	ヨシクラス
25	ヒルムシロクラス
26	塩沼地植生
30	クロマツ植林
33	ゴルフ場・芝地
35	路傍・空地雑草群落
37	畑雑草群落
38	水田雑草群落
39	市街地
40	緑の多い住宅地
41	残存・植栽樹群をもった公園, 墓地等
42	工場地帯
43	造成地
44	開放水域
45	自然裸地

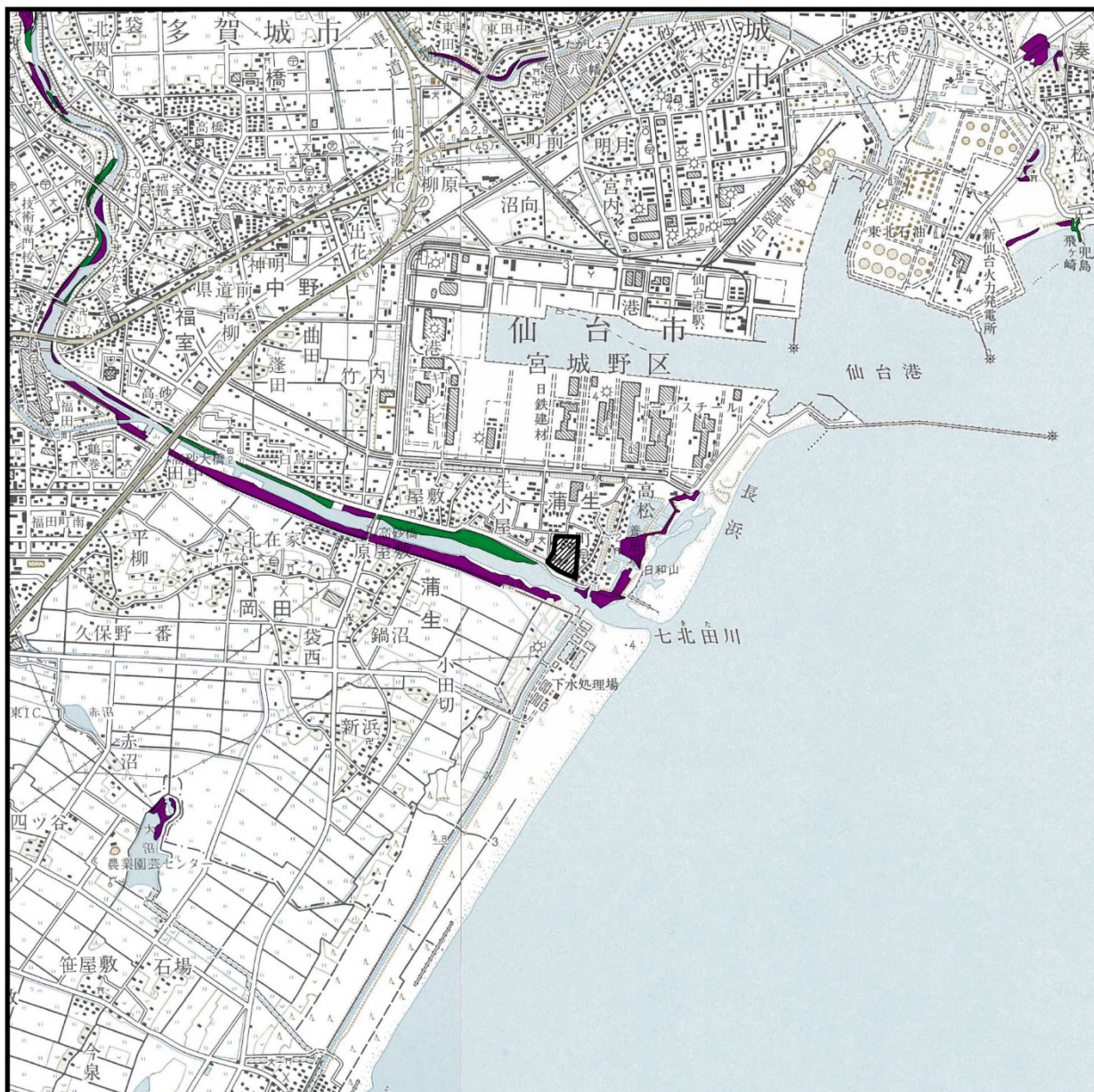
凡例色 凡例番号 植生名

180200	ブナクラス域自然植生
221200	ブナクラス域代償植生
230100	ブナクラス域代償植生
250200	ブナクラス域代償植生
340101	ヤブツバキクラス域自然植生
410101	ヤブツバキクラス域代償植生
470400	河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生等
470401	河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生等
490000	河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生等
540100	植林地、耕作地植生
540300	植林地、耕作地植生
560100	植林地、耕作地植生
570100	植林地、耕作地植生
570300	植林地、耕作地植生
570400	植林地、耕作地植生
580100	その他
580101	その他
580300	その他
580400	その他
580600	その他
580700	その他

凡例名

ヤナギ低木群落 (IV)
オニグルミ群 (V)
アカマツ群落 (V)
ススキ群団 (V)
マサキトベラ群集
クリーコナラ群集
ヨシクラス
ミゾソバヨシ群落
砂丘植生
スギ・ヒノキ・サワラ植林
クロマツ植林
ゴルフ場・芝地
路傍・空地雑草群落
畑雑草群落
水田雑草群落
市街地
緑の多い住宅地
工場地帯
造成地
開放水域
自然裸地

第 6.1-26 図 植生自然度



凡 例



計画地



植生自然度:10

- ヨシクラス
- ミゾソバ-ヨシ群落
- ヒルムシロクラス
- 塩沼地植生
- 砂丘植生



植生自然度:9

- ヤナギ低木群落 (IV)
- マサキートベラ群集

出典:「平成 27 年度仙台市現存植生図」(仙台市HP、閲覧:平成 31 年 2 月)
 「生物多様性センター 植生調査(植生自然度調査)」(環境省HP、閲覧:平成 31 年 2 月)

1:50,000



(4) 注目すべき植物群落

「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(仙台市、平成 29 年)では、第 6.1-49 表に示す選定基準により、保全上重要な植物の生育地を選定している。調査範囲においては、第 6.1-50 表及び第 6.1-27 図に示す保全上重要な植物の生育地が存在するが、計画地には存在しない。また、「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(宮城県、平成 28 年)では第 6.1-51 表に示す選定基準により、存続の危機にある希少な植物群落が掲載されている。調査範囲には第 6.1-52 表及び第 6.1-27 図に示す 5 件が存在するが、計画地には存在しない。

第 6.1-49 表 保全上重要な動植物の生息地・生育地選定のための基準

No.	判 断 理 由
保全上重要な地域	1 保全上重要な動植物種が高密度で分布する地域(動物の繁殖場、集団越冬 集団越冬地となっている地域など)
	2 多様な生物相が保存されている地域
	3 自然性の高い植生、その他学術上重要な植生が保存されている地域
	4 湿地、湧水、岸壁地、地滑り等の動植物の生息・生育地として特異な環境を有する地域
	5 自然とのふれあいの場としてふさわしい地域
	6 環境教育の場としてふさわしい地域
	7 郷土の特色が保存されている地域(里地里山・居久根等)
	8 緑の回廊としてあるいは動物の移動のネットワークとして重要な地域(山地から市街地への連続した緑地、市街地や田園地域に点在する緑地等)
	9 海辺や水辺、植生帯境界等のエコトーンとして重要な地域

出典：「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(仙台市、平成 29 年)

第 6.1-50 表 植物の生育地として重要な地域

No.	地域名	備 考	判断理由
①	七北田川下流域の河畔植生	ヨシ群落自然植生度 10 のヨシクラスを主体とする河畔植生で、防災・減災対策と整合性のある保全・保護対策が必要。市民の憩いの場として極めて貴重。環境省の東北地方太平洋沿岸地域重要自然マップの重点エリアに含まれる。	8,9
②	蒲生の塩生植物群落	仙台湾海浜県立自然環境保全地域、仙台湾海浜鳥獣保護区蒲生特別保護地区。自然度の高い砂洲と潟湖を主体とした河口干潟で、海の干満と七北田川の流れにより多様な微環境が成立している。水辺にはオオシバナやハマツナ、ハマゼリ等を含む塩生の草本植生が分布する。干潮時には干上がる地やわずかに水を冠っている地にみられるオオシバナ、ハマツナ、ハマゼリ等を含む群落である。震災による津波で群落と立地は著しく減少したが、埋土種子などから再生が認められている。今後の環境変化に注目する必要がある。環境省の東北地方太平洋沿岸地域重要自然マップの重点エリアに含まれる。	4,5,6,7
③	大沼周辺の湿地植生	湖岸が非耕作地に、震災後に出現した湿地植生(植生自然度 10 のヨシクラス等)や水生植物が生育する開放水域がまとまっている。環境省の東北地方太平洋沿岸地域重要自然マップの重点エリアに含まれる。	4
④	仙台湾沿岸の海岸林	仙台湾海浜県立自然環境保全地域。藩政時代からのクロマツ林が存在したが、震災による地盤沈下と津波で一部を残し倒伏・流木した。海岸堤防背後では海岸林の再生が進められている。樹林跡地には砂浜植物が再生し、また小湿地群が分布し自然度の高い植生が再生しつつあるため今後の変化に注目する必要がある。環境省の東北地方太平洋沿岸地域重要自然マップの重点エリアに含まれる。	7,9
⑤	仙台湾沿岸の砂浜植物群落	仙台湾海浜県立自然環境保全地域。渚からハマニンニク群落、コウボウムギ群落、ケカモノハシ群落等が順に成立していたが、震災による津波と地盤沈下で植物群落は大きく攪乱された。しかし回復が著しい場所もあり、今後の変化に注目する必要がある。環境省の東北地方太平洋沿岸地域重要自然マップの重点エリアに含まれる。	1,3,4,5,6
⑥	南長沼の池沼植物群落	仙台平野に残された貴重な沼。近年浚渫され、湿生・水生植物の生育地としての価値が著しく減少しつつあるが、震災後においても貴重な植物が確認されており重要。	1,4

注：1. 表中の No. は、第 6.1-27 図の番号に対応する。

2. 判断理由は第 6.1-49 表に対応する。

出典：「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(仙台市、平成 29 年)

第 6.1-51 表 希少な植物群落野カテゴリー区分

区分	区分の内容
1	「要注意」 群落は、現在保護・管理状態が良く、当面破壊されるおそれが少ない。しかし、監視は必要である。
2	「破壊危惧」 群落は当面保護されているが、将来破壊されるおそれがある。
3	「壊滅危惧」 群落は対策を講じなければ徐々に悪化して壊滅する。
4	「壊滅状態」 群落は全体的に壊滅状態にあり、緊急に対策を講じなければ壊滅する。
D	「壊滅」

出典：「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（宮城県、平成 28 年）

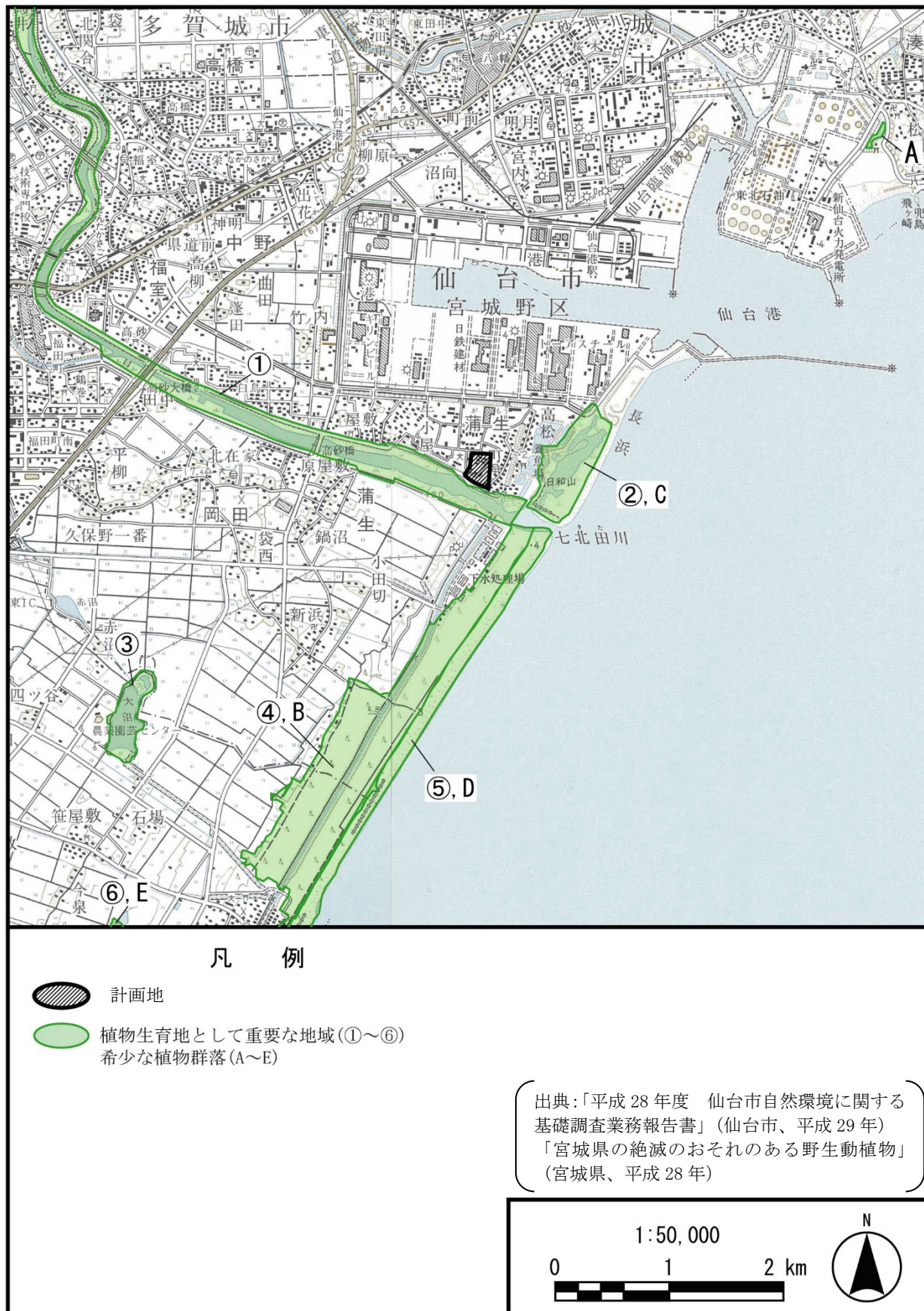
第 6.1-52 表 希少な植物群落

記号	植生タイプ	群落タイプ	希少群落名	県 RDB カテゴリー	面積 (ha)	所在地	備考
A	池沼植生	エゾウキヤガラ群落	深川沼のエゾウキヤガラ群落	2	7.5	七ヶ浜町	特定植物群落
B	海岸林	クロマツ植林	仙台湾沿岸のクロマツ植林	4	1,050	仙台市、名取市、岩沼市、亶理町、山元町	特定植物群落
C	塩湿地植生	—	蒲生の塩性地植物群落	4	20	仙台市	特定植物群落、仙台湾海浜県自然環境保全地域、日本の重要湿地 500
D	砂丘植生	—	仙台湾沿岸の砂丘植物群落	4	240	仙台市、名取市、岩沼市、亶理町、山元町	—
E	池沼植生	—	南長沼の池沼植物群落	3	2.5	仙台市	—

注：表中の記号は、第 6.1-27 図の番号に対応する。

出典：「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（宮城県、平成 28 年）

第 6.1-27 図 植物生育地として重要な地域



2. 動物

(1) 動物相の状況

前出の第 6. 1-45 表における地域区分によると、調査範囲は「市街地地域」に該当している。仙台市の市街地や田園地域では、人の生活空間の拡大や圃場整備等により動物の生息環境が減少しているが、市街地に残された公園の緑地や河川沿い等でキツネ、イタチ、カワセミ、アオダイショウ、ミヤマクワガタ等の動物が生息している。沿岸部では七北田川河口の蒲生干潟がシギ・チドリ類の主要な渡来地になっており、仙台湾海浜ではヤマトマダラバッタ、オオウスバカゲロウ等の海浜性昆虫類も生息している。沿岸部後背のクロマツ林（防潮林）は渡りをする多くの鳥類の中継地として利用されている。

「東北地方太平洋沿岸地域 重要自然マップ 2015」（生物多様性センター、平成 28 年）によると、調査範囲は「七北田川河口域」に位置している。七北田川河口部の北側には蒲生干潟があり、マダラヤンマ、ヤマトマダラバッタ、カワラハンミョウ等砂浜に生息する昆虫類、シギ・チドリ類や渡り鳥等、希少な動植物が多くみられる。七北田川河口部の南側の海岸林、砂浜植生には、カワラハンミョウ等の海辺の甲虫や、リスアカネ等のトンボ類などが確認されている。

(2) 注目すべき種の状況

調査範囲内における注目すべき動物種の状況は、以下に示す文献から抽出して整理した。具体的には、これら文献に掲載されている種のうち、第 6. 1-44 表に示す選定基準に該当するものを注目すべき種として整理した。文献①及び文献②については、仙台市全域を対象としていることから、地域区分が「市街地地域」とされている減少種（第 6. 1-45 表参照）、または、種の分布地として調査範囲内の地域（蒲生、宮城野区港、岡田、荒井、荒浜等）が示されている学術上重要種及び環境指標種等を抽出した。文献③、文献⑤、文献⑧～⑬については、調査範囲内における生息情報が記載されている種を抽出した。文献④、文献⑭～⑱については、蒲生地区で確認された種を対象として注目すべき種を抽出し、文献⑥～⑦、文献⑲～⑳については、蒲生海岸で確認された種を対象として注目すべき種を抽出した。

注目すべき動物種の種数は、第 6. 1-53 表に示すとおり 260 種であった。注目すべき動物種を第 6. 1-54 表～第 6. 1-60 表に示す。

- ①「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成 23 年）
- ②「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成 29 年）
- ③「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（宮城県、平成 28 年）
- ④「平成 27 年度 東北地方太平洋沿岸地域植生・海域等調査報告書」（環境省、平成 28 年）
- ⑤「宮城県の野生哺乳動物」（宮城野野生動物研究会、平成 8 年）
- ⑥「モニタリング 1000 ガンカモ類調査」（環境省HP、閲覧：平成 31 年 2 月）
- ⑦「モニタリング 1000 シギ・チドリ類調査」（環境省HP、閲覧：平成 31 年 2 月）
- ⑧「宮城県猛禽類生息状況調査報告書（環境影響生物基礎調査）」（宮城県、平成 28 年）
- ⑨「宮城県の鳥類分布 2002 年」（（財）日本野鳥の会宮城県支部、平成 14 年）
- ⑩「宮城県の両生類・は虫類」（宮城野野生動物研究会、平成 12 年）
- ⑪「宮城県の甲虫」（日本鞘翅学会、平成元年）

- ⑫「宮城県昆虫分布資料 1、3～7、11～16」(座間 彰、平成元年～平成14年)
- ⑬「宮城県蛾類目録」(宮城昆虫地理研究会、平成21年)
- ⑭「仙台湾海浜県自然環境保全地域学術調査報告書」(宮城県、平成14年)
- ⑮「平成25年度 七北田川水系河川水辺の国勢調査(魚類調査)業務委託報告書」
(株式会社 建設技術研究所、平成25年)
- ⑯「平成24年度 東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査等業務報告書」
(環境省自然環境局生物多様性センター、平成25年)
- ⑰「平成28年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区自然環境調査業務報告書」
(環境省東北地方環境事務所、平成29年)
- ⑱「平成28年度 地震災工雑1430-204号 七北田川環境調査業務委託報告書」
(株式会社建設環境研究所、平成29年)
- ⑲「みちのくベントス 第1号」(みちのくベントス研究所、平成29年)
- ⑳「2011年巨大津波が宮城県蒲生潟の地形、植生および底生動物相に及ぼした影響」
(日本ベントス学会誌67:20-32、2012年)

第6.1-53表 注目すべき動物種の種数

項目	目数	科数	種数	仙台市重要種区分							国 RL	県 RDB	文化財保護法・種の保存法
				学術上重要種	減少種					環境指標種			
					山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域	海浜地域				
哺乳類	4	8	15	9	15	15	15	15	15	13	3	6	0
鳥類	18	40	108	58	80	80	80	80	80	43	55	40	17
爬虫類	2	8	11	2	8	8	8	8	8	6	2	3	2
両生類	2	6	13	2	13	13	13	13	13	10	4	6	0
昆虫類	6	35	56	26	51	51	51	51	51	20	21	37	0
魚類	9	12	29	19	29	29	29	29	29	9	24	23	0
無脊椎動物 (昆虫類以外)	11	21	28	-	-	-	-	-	-	-	14	22	0
合計	51	130	260	116	196	196	196	196	196	101	123	137	19

注：1. 表中の「国 RL」及び「県 RDB」は次のとおりである。

国 RL：「環境省レッドリスト2019」(環境省、平成31年)掲載種

県 RDB：「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(宮城県、平成28年)掲載種

2. 減少種の地域区分については、第6.1-45表を参照。

3. 無脊椎動物(昆虫類以外)は、「平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(仙台市、平成29年)には掲載されていないため、「仙台市重要種区分」の記載はない。

第 6.1-54 表 注目すべき動物種【哺乳類】

No.	目名	科名	種名	文献					仙台市重要種区分					学術上重要種	国 RL	県 RDB	文化財保護法・種の保存法	分布地	
				①	②	③	④	⑤	減少種										
									山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域	海浜地域						環境指標種
1	モグラ(食虫)	トガリネズミ	トガリネズミ	○	○					+	C	/	/	/	○		DD		
2			ジネズミ	○	○					+	C	B	C	・	○				
3			カワネズミ	○	○				1,4	B	B	/	/	/	○		DD		
4		モグラ	ヒメヒミズ	○	○				1	+	・	/	/	/	○				
5			ミズラモグラ	○	○				1,4	C	・	/	/	/		NT	NT		
6	コウモリ(翼手)	キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ	○	○				1	C	C	C	・	・	○				
7			ヒナコウモリ	○	○				1,4	C	C	C	・	・	○				
8		ヒナコウモリ	ヤマコウモリ	○	○				1,4	C	C	C	C	C	○	VU	VU		
9			ヒナコウモリ	○	○				1,4	C	C	C	・	C	○		VU		
10	ネズミ(齧歯)	リス	ムササビ	○	○				1,4	・	C	C	・	・	○				
11		ネズミ	ハタネズミ	○	○			○		+	C	C	C	C	○				
12			ヒメネズミ	○	○					+	+	+	/	・	○				
13	ネコ(食肉)	イヌ	タヌキ			○	○			+	+	・	+	・	○				
14			イタチ	イタチ	○	○		○	○		C	C	C	C	C	○			
15				オコジョ	○	○				1,4	C	・	/	/	/		NT	NT	
	4 目	8 科	15 種	14 種	14 種	1 種	2 種	2 種	9 種	15 種	15 種	15 種	15 種	15 種	13 種	3 種	6 種	0 種	記載無し

注：1. 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 30 年度生物リスト」（国土交通省、平成 30 年）に準拠した。

2. 表中の文献は以下のとおりである。

- ① 「平成 22 年度 自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成 23 年）
- ② 「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成 29 年）
- ③ 「平成 27 年度 東北地方太平洋沿岸地域植生・海域等調査調査報告書」（環境省、平成 28 年）
- ④ 「宮城県の野生哺乳動物」（宮城野野生動物研究会、平成 8 年）
- ⑤ 「仙台湾海浜県自然環境保全地域学術調査報告書」（宮城県、平成 14 年）

3. 表中の分布地は、文献①及び文献②に記載されている分布地を示す。

4. 減少種の地域区分については、第 6.1-45 表を参照。

5. 文献①の掲載種は、当時の国 RL 及び県 RDB に基づくランク等が示されているが、文献①発行後に国 RL 及び県 RDB が改正されているため、文献①の記載と本表の記載は必ずしも一致しない。

第 6.1-55 表(1) 注目すべき動物種【鳥類】

No.	目名	科名	種名	文献									仙台市重要種区分						国 RL	県 RDB	文化財保護法・種の保存法	分布地
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	学術上重要種	減少種								
														山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域	海浜地域				
1	キジ	キジ	ウズラ	○	○	○													VU	CR+EN		蒲生海岸
2	カモ	カモ	ヒシクイ	○	○					○									VU NT	NT	天記	蒲生、蒲生海岸
3			マガン	○	○					○									NT		天記	大沼、蒲生
4			カリガネ							○									EN	NT		
5			コクガン	○	○	○		○		○	○	1,2,4	/	/	/	・	B		VU	VU	天記	蒲生、七北田川河口
6			ツクシガモ							○									VU			
7			オンドリ	○	○					○		1,4	+	C	B	・	・		DD			大沼
8			トモエガモ					○		○									VU			
9			アカハジロ							○									DD			
10	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	○	○					○	○			・	C	B	C	C	○			蒲生
11	ミズナギドリ	アホウドリ	コアホウドリ							○									EN			
12	コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ								○								CR		特天国内	
13	カツオドリ	ウ	ヒメウ							○									EN	VU		
14	ベリカン	サギ	サンカノゴイ	○	○	○				○	○	1	・	B	A	B	B		EN	NT		蒲生
15			ヨシゴイ	○	○		○			○	○	1,4	・	C	B	C	C	○	NT	NT		七北田川、蒲生
16			オオヨシゴイ	○	○					○		1,4	・	・	・	B	B		CR	CR+EN		大沼、南蒲生
17			アマサギ	○	○					○		4	・	・	A	+	・	○				中野、岡田、蒲生、南蒲生
18			チュウサギ	○	○					○	○	1,2,4	・	C	A	C	C		NT			蒲生、大沼、南蒲生、蒲生二本木、蒲生海岸
19			コサギ	○	○		○			○	○		・	C	B	+	+	○				蒲生海岸、天神沢、蒲生二本木
20			カラシラサギ			○				○	○								NT	DD		
21		トキ	ヘラサギ							○									DD			
22			クロツラヘラサギ							○									EN			
23	ツル	クイナ	クイナ	○	○	○				○	○	1,4	・	C	A	B	B			要		大沼、蒲生
24			ヒメクイナ			○				○										要		
25			ヒクイナ	○	○					○		1,4	・	C	B	B	B		NT	CR+EN		蒲生海岸
26			バン	○	○		○			○	○	1,4	・	C	B	C	C	○				蒲生
27			オオバン	○	○		○			○	○		・	・	・	B	B					蒲生
28	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	○	○					○	○	1,4	+	+	C	C	C	○				
29			カッコウ	○	○					○	○	1,4	C	C	B	C	C	○				七北田川、蒲生

注：1. 種名は「日本鳥類目録 改訂第7版」（日本鳥学会、平成24年）に準拠した。
 2. 表中の文献は以下のとおりである。
 ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成23年）
 ②「平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成29年）
 ③「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（宮城県、平成28年）
 ④「平成27年度 東北地方太平洋沿岸地域植生・海域等調査報告書」（環境省、平成28年）
 ⑤「モニタリング1000 ガンカモ類調査」（環境省HP、閲覧：平成31年2月）
 ⑥「モニタリング1000 シギ・チドリ類調査」（環境省HP、閲覧：平成31年2月）
 ⑦「宮城県猛禽類生息状況調査報告書（環境影響生物基礎調査）」（宮城県環境生活部自然保護課、平成28年）
 ⑧「宮城県の鳥類分布 2002年」（（財）日本野鳥の会宮城県支部、平成14年）
 ⑨「平成28年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区自然環境調査業務報告書」（環境省東北地方環境事務所、平成29年）
 3. 表中の分布地は、文献①、②、⑨に記載されている分布地を示す。
 4. 減少種の地域区分については、第6.1-45表を参照。
 5. 文献①の掲載種は、当時の国RL及び県RDBに基づくランク等が示されているが、文献①発行後に国RL及び県RDBが改正されているため、文献①の記載と本表の記載は必ずしも一致しない。

第 6.1-55 表 (2) 注目すべき動物種【鳥類】

No.	目名	科名	種名	文献									仙台市重要種区分					国 RL	県 RDB	文化財保護法・種の保存法	分布地						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	学術上重要種	減少種													
														山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域					海浜地域	環境指標種				
30	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	○	○											1,4	+	C	B	.	.	○	NT	NT			
31	アマツバメ	アマツバメ	ハリオアマツバメ								○														要		
32	チドリ	チドリ	ケリ								○													DD	要		
33			イカルチドリ	○	○						○					1,4	C	C	B	B	.	○				七北田川	
34			シロチドリ	○	○	○					○					1,4	B	○	VU	NT		蒲生
35			メダイチドリ								○															国際	蒲生
36			オオメダイチドリ								○															国際	
37		セイタカシギ	セイタカシギ								○													VU			
38		シギ	オオジシギ	○	○						○					1,4	B	B	A	B	B			NT	NT		蒲生、大沼、南蒲生
39			シベリアオオハシシギ								○													DD			
40			オオソリハシシギ								○													VU			
41			ホウロクシギ	○	○	○					○					1,4	B		VU	NT	国際	蒲生
42			ツルシギ		○						○					1,4			VU			蒲生
43			アカアシシギ	○	○		○				○					1	.	.	.	B	B			VU			蒲生、大沼
44			カラフトアオアシシギ								○													CR		国内	
45			タカブシギ								○													VU			
46			オバシギ				○				○															国際	
47			コオバシギ								○															国際	
48			サルハマシギ								○															国際	蒲生
49			ハマシギ		○		○				○					1,4	C	○	NT			蒲生広瀬川合流点付近
50			ヘラシギ	○	○	○					○					1	B		CR	VU		大沼、蒲生
51		タマシギ	タマシギ								○													VU			
52		ツバメチドリ	ツバメチドリ								○													VU			
53		カモメ	ズグロカモメ			○					○													VU	要		
54			コアジサシ	○	○						○					1,2,4	.	.	A	B	B			VU	VU	国際	大沼、蒲生
55		ウミスズメ	マダラウミスズメ								○													DD			
56			ウミスズメ		○						○					1,4	/	/	/	/	.			CR			蒲生干潟
57	タカ	ミサゴ	ミサゴ	○	○		○				○					1,4	.	.	.	C	C	○	NT			蒲生、大沼、七北田川	
58		タカ	オジロワシ	○	○						○					1,2,4	.	B	B	B	B			VU	VU	天記、国内・国際	蒲生、仙台港
59			オオワシ	○	○						○					1,2,4	.	.	.	B	B			VU	VU	天記、国内	蒲生、仙台港
60			チュウビ	○	○						○					1,4	.	C	B	C	C	○	EN	NT	国内	蒲生	
61			ツミ	○	○						○					1,4	C	C	C	C	C				DD		
62			ハイタカ	○	○						○					1,4	C	C	C	C	C			NT	NT		蒲生

- 注：1. 種名は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会、平成24年)に準拠した。
 2. 表中の文献は以下のとおりである。
 ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(仙台市、平成23年)
 ②「平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(仙台市、平成29年)
 ③「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(宮城県、平成28年)
 ④「平成27年度 東北地方太平洋沿岸地域植生・海域等調査報告書」(環境省、平成28年)
 ⑤「モニタリング1000 ガンカモ類調査」(環境省HP、閲覧：平成31年2月)
 ⑥「モニタリング1000 シギ・チドリ類調査」(環境省HP、閲覧：平成31年2月)
 ⑦「宮城県猛禽類生息状況調査報告書(環境影響生物基礎調査)」(宮城県環境生活部自然保護課、平成28年)
 ⑧「宮城県の鳥類分布 2002年」(財)日本野鳥の会宮城県支部、平成14年)
 ⑨「平成28年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区自然環境調査業務報告書」(環境省東北地方環境事務所、平成29年)
 3. 表中の分布地は、文献①、②、⑨に記載されている分布地を示す。
 4. 減少種の地域区分については、第6.1-45表を参照。
 5. 文献①の掲載種は、当時の国RL及び県RDBに基づくランク等が示されているが、文献①発行後に国RL及び県RDBが改正されているため、文献①の記載と本表の記載は必ずしも一致しない。

第 6.1-55 表 (3) 注目すべき動物種【鳥類】

No.	目名	科名	種名	文献									仙台市重要種区分					国 RL	県 RDB	文化財保護法・種の保存法	分布地			
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	学術上重要種	減少種								環境指標種		
														山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域						海浜地域	
63	タカ	タカ	オオタカ	○	○		○			○	○	○	1,4	C	C	B	B	C	○	NT	NT		蒲生、七北田川	
64			サシバ	○	○					○	○		1,4	C	C	A	C	C		VU	VU		蒲生	
65			ノスリ	○	○		○				○	○		+	C	C	C	・	○				蒲生	
66	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	○	○								1	C	C	C	B	B			要		蒲生	
67			フクロウ	○	○								1	C	C	B	B	C	○					
68			アオハズク	○	○					○			1	・	C	B	B	B	○		VU			
69			トラフズク	○	○					○			1	・	・	・	B	B					蒲生	
70			コミミズク	○	○					○	○		1	・	B	A	B	B	○		要		大沼、蒲生	
71	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	○	○		○			○	○		1,4	・	C	C	C	・	○				蒲生、七北田川、南蒲生	
72			ヤマセミ	○	○								1,4	・	・	B	・	・	○		要			
73	キツツキ	キツツキ	アカゲラ	○	○					○	○		+	C	B	C	C							
74			アオゲラ	○	○								+	C	B	C	C	○						
75	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	○	○		○			○	○		1,4	・	C	B	C	B						
76			チゴハヤブサ	○	○					○	○			・	・	B	B	・			要		蒲生	
77			ハヤブサ	○	○					○	○	○	1,4	C	B	B	B	B		VU	NT	国内	蒲生、大沼、仙台港、荒井、南蒲生	
78	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	○	○					○	○			C	C	B	C	C		VU	VU			
79		カササギヒタキ	サンコウチョウ	○	○								1	・	C	B	・	・	○				蒲生	
80		モズ	チゴモズ	○	○								1,4	・	B	B	B	・		CR	CR+EN			
81			モズ	○	○		○			○	○		1	+	C	B	C	C	○					
82			アカモズ	○	○					○			1,4	・	B	B	B	B		EN	CR+EN		蒲生、七北田川	
83		ヒバリ	ヒバリ	○	○		○			○	○			・	C	B	C	C	○					
84		ツバメ	ツバメ	○	○		○			○	○			・	C	C	C	・	○					
85		ウグイス	ウグイス	○	○		○			○	○		1,4	+	+	C	C	C	○				七北田川、蒲生	
86		ムシクイ	オオムシクイ							○										DD				
87			ゼンダイムシクイ	○	○					○				+	C	B	・	・	○					
88		センニュウ	オオセッカ		○		○			○			1,3,4	・	・	・	・	・		EN	VU	国内	蒲生海岸	
89		ヨシキリ	オオヨシキリ	○	○		○			○	○		1,4	・	C	B	C	C	○				蒲生	
90			コヨシキリ	○	○		○			○	○		1,4	・	C	A	C	C	○				蒲生	
91		セッカ	セッカ	○	○		○			○	○		1,4	・	C	B	C	C	○				七北田川、大沼、蒲生	
92		ゴジュウカラ	ゴジュウカラ	○	○									+	・	B	・	・	○					
93		カワガラス	カワガラス	○	○									+	C	B	・	・	○					

- 注：1. 種名は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会、平成24年)に準拠した。
 2. 表中の文献は以下のとおりである。
 ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(仙台市、平成23年)
 ②「平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(仙台市、平成29年)
 ③「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(宮城県、平成28年)
 ④「平成27年度 東北地方太平洋沿岸地域植生・海域等調査報告書」(環境省、平成28年)
 ⑤「モニタリング1000 ガンカモ類調査」(環境省HP、閲覧：平成31年2月)
 ⑥「モニタリング1000 シギ・チドリ類調査」(環境省HP、閲覧：平成31年2月)
 ⑦「宮城県猛禽類生息状況調査報告書(環境影響生物基礎調査)」(宮城県環境生活部自然保護課、平成28年)
 ⑧「宮城県の鳥類分布 2002年」(財)日本野鳥の会宮城県支部、平成14年)
 ⑨「平成28年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区自然環境調査業務報告書」(環境省東北地方環境事務所、平成29年)
 3. 表中の分布地は、文献①、②、⑨に記載されている分布地を示す。
 4. 減少種の地域区分については、第6.1-45表を参照。
 5. 文献①の掲載種は、当時の国RL及び県RDBに基づくランク等が示されているが、文献①発行後に国RL及び県RDBが改正されているため、文献①の記載と本表の記載は必ずしも一致しない。

第 6.1-55 表(4) 注目すべき動物種【鳥類】

No.	目名	科名	種名	文献									仙台市重要種区分						国 RL	県 RDB	文化財保護法・種の保存法	分布地	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	学術上重要種	減少種									
														山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域	海浜地域					環境指標種
94	スズメ	ヒタキ	トラツグミ	○	○							○		+	C	B	C	C	○				
95			クロツグミ	○	○							○	1,4	+	C	B	C	C	○				
96			シロハラ	○	○							○		+	C	B	・	・	○				
97			コルリ	○	○								1,4	+	C	B	C	C	○				
98			ルリビタキ	○	○							○		+	C	C	C	C	○				
99			コサメビタキ	○	○							○		・	・	B	・	・	○				蒲生
100			キビタキ	○	○							○		+	C	B	・	・	○				蒲生
101			オオルリ	○	○							○	1,4	+	C	C	C	C	○				七北田ダム、蒲生
102			セキレイ	キセキレイ	○	○						○	1,4	+	C	C	C	・	○				
103				セグロセキレイ	○	○		○				○	○	4	C	C	C	C	・	○			
104			ホオジロ	ホオジロ	○	○		○				○	○		+	+	B	C	C	○			
105	ホオアカ	○		○						○	○		B	C	A	C	B	○				蒲生	
106	ノジロ	○		○								1,4	C	C	B	・	・		NT	要			
107	アオジ	○		○		○					○	○		C	C	C	C	C					
108		コジュリン		○							○	1,4	・	・	・	B	B		VU	VU		蒲生、南蒲生、七北田川	
				74種	80種	10種	25種	2種	13種	7種	95種	39種	58種	80種	80種	80種	80種	80種	43種	55種	40種	17種	

- 注：1. 種名は「日本鳥類目録 改訂第7版」（日本鳥学会、平成24年）に準拠した。
2. 表中の文献は以下のとおりである。
- ① 「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成23年）
 - ② 「平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成29年）
 - ③ 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（宮城県、平成28年）
 - ④ 「平成27年度 東北地方太平洋沿岸地域植生・海域等調査報告書」（環境省、平成28年）
 - ⑤ 「モニタリング1000 ガンカモ類調査」（環境省HP、閲覧：平成31年2月）
 - ⑥ 「モニタリング1000 シギ・チドリ類調査」（環境省HP、閲覧：平成31年2月）
 - ⑦ 「宮城県猛禽類生息状況調査報告書（環境影響生物基礎調査）」（宮城県環境生活部自然保護課、平成28年）
 - ⑧ 「宮城県の鳥類分布 2002年」（（財）日本野鳥の会宮城県支部、平成14年）
 - ⑨ 「平成28年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区自然環境調査業務報告書」（環境省東北地方環境事務所、平成29年）
3. 表中の分布地は、文献①、②、⑨に記載されている分布地を示す。
4. 減少種の地域区分については、第6.1-45表を参照。
5. 文献①の掲載種は、当時の国RL及び県RDBに基づくランク等が示されているが、文献①発行後に国RL及び県RDBが改正されているため、文献①の記載と本表の記載は必ずしも一致しない。

第 6.1-56 表 注目すべき動物種【爬虫類】

No.	目名	科名	種名	文献				仙台市重要種区分							国 RL	県 RDB	文化財保護法・種の保存法	分布地	
				①	②	③	④	学術上重要種	注目種					環境指標種					
									山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域	海浜地域						
1	カメ	ウミガメ	アカウミガメ			○	○									EN	DD	国際	
2		オサガメ	オサガメ			○	○											国際	
3		イシガメ	ニホンイシガメ	○											NT	DD			
4	有鱗	トカゲ	ヒガシニホントカゲ	○	○			1	・	C	A	・	・	○					
5		カナヘビ	ニホンカナヘビ	○	○	○			+	+	C	C	・	○					
6		タカチホヘビ	タカチホヘビ	○	○			1	・	・	A	・	・			DD			
7		ナミヘビ	アオダイショウ	○	○	○	○		+	+	B	C	C	○				蒲生、荒井	
8			ジムグリ	○	○	○			+	+	B	C	C	○				荒浜	
9			ヒバカリ	○	○				C	C	C	C	B	○					
10			ヤマカガシ		○	○			・	+	A	C	・	○					
11		クサリヘビ	ニホンマムシ		○				C	C	A	C	・						
	2 目	8 科	11 種	7 種	8 種	6 種	3 種	2 種	8 種	8 種	8 種	8 種	8 種	6 種	2 種	3 種	2 種		

注：1. 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 30 年度生物リスト」（国土交通省、平成 30 年）に準拠した。

- 表中の文献は以下のとおりである。
 - 「平成 22 年度 自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成 23 年）
 - 「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成 29 年）
 - 「宮城県の両生類・は虫類」（宮城野野生動物研究会、平成 12 年）
 - 「仙台湾海浜県自然環境保全地域学術調査報告書」（宮城県、平成 14 年）
- 表中の分布地は、文献①及び文献②に記載されている分布地を示す。
- 減少種の地域区分については、第 6.1-45 表を参照。
- 文献①には当時の国 RL 及び県 RDB に基づくランク等が示されているが、文献①発行後に国 RL 及び県 RDB が改正されているため、文献①の記載と本表の記載は必ずしも一致しない。

第 6.1-57 表 注目すべき動物種【両生類】

No.	目名	科名	種名	文献					仙台市重要種区分					国 RL	県 RDB	文化財保護法・種の保存法	分布地			
				①	②	③	④	⑤	学術上重要種	減少種										
										山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域					海浜地域	環境指標種	
1	有尾	サンショウウオ	トウホクサンショウウオ	○	○				4	+	C	B	/	/	○	NT	NT			
2			クロサンショウウオ	○	○						+	C	A	/	/	○	NT	LP		
3			キタオウシュウサンショウウオ		○					2	+	C	/	/	/	○		NT		
4			イモリ	アカハライモリ	○	○						+	C	A	C	/	○	NT	LP	
5	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル	○	○		○				+	C	B	C	/					
6			アマガエル	ニホンアマガエル		○		○	○			+	+	+	+	+	○			
7			アカガエル	タゴガエル	○	○						+	C	A	/	/				
8				ニホンアカガエル	○	○		○	○			+	+	A	C	/			荒浜	
9				トウキョウダルマガエル	○	○		○				C	C	A	C	/	○	NT	NT	荒井
10				ツチガエル	○	○						+	C	A	・	/	○		NT	
11			アオガエル	シュレーゲルアオガエル		○						+	+	B	C	/	○			
12				モリアオガエル		○						+	B	/	/	/	○			
13				カジカガエル	○	○							+	+	B	/	/	○		
	2 目	6 科	13 種	9 種	13 種	0 種	4 種	2 種	2 種	13 種	13 種	13 種	13 種	13 種	10 種	4 種	6 種	0 種		

注：1. 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 30 年度生物リスト」（国土交通省、平成 30 年）に準拠した。

2. 表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成 22 年度 自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成 23 年）
- ②「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成 29 年）
- ③「平成 27 年度 東北地方太平洋沿岸地域植生・海域等調査調査報告書」（環境省、平成 28 年）
- ④「宮城県の両生類・は虫類」（宮城野野生動物研究会、平成 12 年）
- ⑤「仙台湾海浜県自然環境保全地域学術調査報告書」（宮城県、平成 14 年）

3. 表中の分布地は、文献①及び文献②に記載されている分布地を示す。

4. 減少種の地域区分については、第 6.1-45 表を参照。

5. 文献①には当時の国 RL 及び県 RDB に基づくランク等が示されているが、文献①発行後に国 RL 及び県 RDB が改正されているため、文献①の記載と本表の記載は必ずしも一致しない。

第 6.1-58 表 (1) 注目すべき動物種【昆虫類】

No.	目名	科名	種名	文献							仙台市重要種区分					国 RL	県 RDB	文化財保護法・種の保存法	分布地			
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	学術上重要種	減少種										
												山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域					海浜地域	環境指標種	
1	トンボ	イトトンボ	ヒヌマイトトンボ		○							1,2	EX	EX	EX	EX	EX	EN	CR+EN			
2	(蜻蛉)	カワトンボ	アオハダトンボ	○														NT				
3		ムカシトンボ	ムカシトンボ		○							1,4	+	+	/	/	/	○				
4		ヤンマ	ネアカヨシヤンマ		○								/	/	/	・	C	NT	NT			
5			マダラヤンマ			○							・	・	・	C	C	NT	NT			
6			カトリヤンマ	○	○							1	・	B	・	B	・		CR+EN		荒浜	
7		サナエトンボ	ウチワヤンマ	○	○							1	・	C	B	C	・					
8			ナゴヤサナエ	○	○							1,2	・	・	C	・	・	VU	CR+EN		七北田川	
9		トンボ	ハッチョウトンボ	○	○							1	・	B	A	・	・	○	VU			
10			キトンボ	○	○							1	・	A	A	・	・		VU			
11			ナツアカネ			○							・	C	・	C	・	○				
12			アキアカネ			○							・	C	・	C	・	○				
13			ノシメトンボ			○							・	C	・	C	・	○				
14			マイコアカネ			○							・	C	・	C	・	○				
15			ヒメアカネ	○	○							1	・	B	A	・	・		CR+EN			
16	バッタ	マツムシ	スズムシ	○	○							1	・	B	A	B	・					
17	(直翅)	バッタ	ヤマトマダラバッタ	○		○	○					2	・	・	・	・	C	○	VU		荒浜	
18			カララバッタ	○	○							1	・	・	B	B	・	○	NT			
19	カメムシ	セミ	エゾゼミ	○	○								・	+	B	・	・	○				
20	(半翅)	コオイムシ	コオイムシ	○	○							1	・	B	A	A	・	NT	NT			
21			タガメ	○	○							1	・	B	A	A	・	○	VU	CR+EN		
22	チョウ	マダラガ	ヤホシホソマダラ			○												NT				
23	(鱗翅)	シジミチョウ	クロシジミ	○	○							1	・	A	A	・	・	EN	CR+EN			
24		タテハチョウ	オオウラギンヒョウモン	○	○								EX	EX	EX	EX	EX	CR	EX			
25			ジャノメチョウ	○	○								・	C	C	C	・	○				
26			オオムラサキ	○	○							1	・	C	B	B	・	○	NT			
27		アゲハチョウ	アオスジアゲハ	○	○			○				4	・	・	+	+	・	○				
28			ヒメギフチョウ本州亜種	○	○	○						1	C	B	B	・	・	○	NT	NT		
29		シロチョウ	ヒメシロチョウ北海道・本州亜種	○	○								EX	EX	EX	EX	EX	EN	CR+EN			
30		ドクガ	フタホシドクガ	○	○							1	・	・	C	・	・			NT		
31		ヤガ	コシロシタバ	○	○							1	A	・	A	・	・	NT	VU			
32	コウチュウ	オサムシ	マークオサムシ			○												VU	CR+EN			
33	(鞘翅)		ヒョウタンゴミムシ	○	○	○							・	・	・	・	C	○	NT		宮城野区蒲生	
34		ハンミョウ	カララハンミョウ	○	○	○	○					1	・	・	・	・	C	○	EN	CR+EN		宮城野区蒲生
35			ナミハンミョウ	○	○								・	B	B	・	・					
36		ゲンゴロウ	クロゲンゴロウ	○															NT			
37			ゲンゴロウ	○	○							1	・	・	B	B	・		VU	NT		
38		クワガタムシ	ミヤマクワガタ	○	○								・	C	B	・	・	○				
39			ノコギリクワガタ	○	○								・	C	C	C	・	○				
40		コガネムシ	ヤマトケシマグソコガネ		○	○							・	・	・	・	・		NT		宮城野区荒浜	
41		タマムシ	タマムシ	○	○							1,2	・	B	A	A	・		NT			
42		コメツクムシ	スナサヒキコリ		○	○						2	・	・	・	・	・		NT		宮城野区蒲生	
43		ホタル	ゲンジボタル	○	○							1	・	C	B	C	・	○		NT		
44		ゴミムシダマシ	ハマヒョウタンゴミムシダマシ	○	○	○							・	・	・	・	C	○				宮城野区蒲生

注：1. 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 30 年度生物リスト」（国土交通省、平成 30 年）に準拠した。

2. 表中の文献は以下のとおりである。

- ① 「平成 22 年度 自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成 23 年）
- ② 「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成 29 年）
- ③ 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（宮城県、平成 28 年）
- ④ 「平成 27 年度 東北地方太平洋沿岸地域植生・海域等調査調査報告書」（環境省、平成 28 年）
- ⑤ 「宮城県の甲虫」（日本鞘翅学会、平成元年）
- ⑥ 「宮城県昆虫分布資料 1、3～7、11～16」（座間 彰、平成元年～平成 14 年）
- ⑦ 「宮城県蛾類目録」（宮城昆虫地理研究会、平成 21 年）

3. 表中の分布地は、文献①及び文献②に記載されている分布地を示す。

4. 減少種の地域区分については、第 6.1-45 表を参照。

5. 文献①には当時の国 RL 及び県 RDB に基づくランク等が示されているが、文献①発行後に国 RL 及び県 RDB が改正されているため、文献①の記載と本表の記載は必ずしも一致しない。

第 6.1-58 表 (2) 注目すべき動物種【昆虫類】

No.	目名	科名	種名	文献							学術上重要種	仙台市重要種区分					国 RL	県 RDB	文化財保護法・種の保存法	分布地
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		減少種								
												山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域	海浜地域				
45	コウチュウ	カミキリムシ	ヤマトキモンハナカミキリ			○						・	・	・	・	・		VU		
46	(鞘翅)		ヨツボシカミキリ			○						・	・	・	・	・	EN	CR+EN		
47	ハチ(膜翅)	クモバチ	ムツボシクモバチ	○	○							・	・	・	・	B	NT		蒲生海岸、宮城野区蒲生	
48			ハイイロクモバチ		○							・	・	・	・		NT		宮城野区蒲生	
49		ツチバチ	オオモンツチバチ		○							・	・	・	・		NT		宮城野区蒲生、若林区荒浜	
50		ギングチバチ	クロケラトリバチ			○											DD			
51		ドロバチモドキ	ニッポンハナダカバチ	○	○	○						・	・	・	・	B	VU	CR+EN	蒲生海岸、宮城野区蒲生	
52		アリマキバチ	キアシマエダテバチ			○						・	・	・	・		DD			
53		フシダカバチ	キスジツチスガリ	○	○	○				1		・	・	・	・	B	VU		蒲生海岸、宮城野区蒲生	
54		ムカシハナバチ	ホソメンハナバチ			○	○					・	・	・	・		CR+EN		宮城野区蒲生	
55			ノウメンメンハナバチ			○	○					・	・	・	・		CR+EN		宮城野区蒲生	
56		ハキリバチ	キヌゲハキリバチ	○	○					1		・	・	・	・	B	VU		蒲生海岸、宮城野区蒲生	
6 目 35 科 56 種				36種	42種	13種	9種	1種	2種	0種	26種	51種	51種	51種	51種	51種	20種	21種	37種	0種

- 注：1. 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 30 年度生物リスト」(国土交通省、平成 30 年)に準拠した。
2. 表中の文献は以下のとおりである。
- ① 「平成 22 年度 自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(仙台市、平成 23 年)
 - ② 「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(仙台市、平成 29 年)
 - ③ 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(宮城県、平成 28 年)
 - ④ 「平成 27 年度 東北地方太平洋沿岸地域植生・海域等調査調査報告書」(環境省、平成 28 年)
 - ⑤ 「宮城県の甲虫」(日本鞘翅学会、平成元年)
 - ⑥ 「宮城県昆虫分布資料 1、3～7、11～16」(座間 彰、平成元年～平成 14 年)
 - ⑦ 「宮城県蛾類目録」(宮城昆虫地理研究会、平成 21 年)
3. 表中の分布地は、文献①及び文献②に記載されている分布地を示す。
4. 減少種の地域区分については、第 6.1-45 表を参照。
5. 文献①には当時の国 RL 及び県 RDB に基づくランク等が示されているが、文献①発行後に国 RL 及び県 RDB が改正されているため、文献①の記載と本表の記載は必ずしも一致しない。

第 6.1-59 表 注目すべき動物種【魚類】

No.	目名	科名	種名	文献					仙台市重要種区分						国 RL	県 RDB	文化財保護法・種の保存法	分布地			
				①	②	③	④	⑤	学術上重要種	減少種											
										山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域	海浜地域					環境指標種		
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ類	○	○				1	C	B	C	C	/		VU	NT		七北田川		
2			カワヤツメ		○				1	/	/	/	/	・		VU	DD				
3	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ	○	○				1	・	B	B	C	C	○	EN	NT		七北田川、蒲生干潟		
4	コイ	コイ	キンブナ		○					+	+	C	C	・		VU	NT				
5			テツギョ	○	○				1	A	/	/	/	/			CR+EN				
6			タナゴ	○	○					EX	EX	EX	EX	EX			EN	CR+EN			
7			アカヒレタビラ	○	○					EX	EX	EX	EX	EX			EN	CR+EN			
8			ゼニタナゴ	○	○					EW	EW	EW	EW	EW			CR	CR+EN			
9			エゾウグイ		○				1,4	B	/	/	/	/			LP	VU			
10			ウグイ	○	○					+	+	+	+	+	○					七北田川	
11			シナイモツゴ		○				1,4	A	/	/	/	/			CR	CR+EN			
12			ドジョウ	ホトケドジョウ	○	○				1	+	+	C	C	/	○	EN	NT			
13			ナマズ	ギギ	ギバチ	○	○				1	・	+	+	C	/		VU	NT		
14			サケ	アユ	アユ	○	○					/	+	+	+	C	○				七北田川
15	サケ	ニッコウイワナ			○					+	B	/	/	/		DD					
16	サケ	サクラマス			○				1	+	・	C	C	C	○		NT				
17	サケ	サクラマス(ヤマメ)			○					+	+	+	+	/	○	NT					
18	トゲウオ	トゲウオ	ニホンイトヨ	○	○	○			1,4	/	/	/	A	A		LP	DD		蒲生の干潟		
19	ダツ	メダカ	ミナミメダカ	○	○				1	・	A	A	C	C	○	VU	NT		貞山掘		
20		サヨリ	クルマサヨリ		○				1	/	/	/	/	・		NT	DD				
21	スズキ	カジカ	カジカ	○	○					+	+	B	/	/	○	NT			七北田川		
22			ウツセミカジカ(回遊型)	○	○				1	/	/	/	・	・		EN	VU				
23		ハゼ	ヒモハゼ	○	○	○				1	/	/	/	/	C	○	NT	NT		蒲生干潟	
24			シロウオ		○						/	/	/	/	C		VU	VU			
25			アベハゼ	○	○	○		○	2	/	/	/	/	C	C			NT		七北田川の河口付近	
26			マサゴハゼ	○	○	○			1,2	/	/	/	/	/	B		VU	CR+EN		蒲生干潟	
27			スミウキゴリ		○					1	/	/	+	+	+		LP				
28			ヘビハゼ		○					1	/	/	/	/	・		DD	DD			
29			エドハゼ	○	○	○			1,2	/	/	/	/	/	C		VU	VU		蒲生干潟	
			8 目	12 科	29 種	18 種	29 種	5 種	0 種	1 種	19 種	29 種	29 種	29 種	29 種	29 種	9 種	24 種	23 種	0 種	

注：1. 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 30 年度生物リスト」（国土交通省、平成 30 年）に準拠した。

- 表中の文献は以下のとおりである。
 - 「平成 22 年度 自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成 23 年）
 - 「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成 29 年）
 - 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（宮城県、平成 28 年）
 - 「平成 27 年度 東北地方太平洋沿岸地域植生・海域等調査調査報告書」（環境省、平成 28 年）
 - 「平成 25 年度 七北田川水系河川水辺の国勢調査（魚類調査）業務委託報告書」（株式会社 建設技術研究所、平成 25 年）
- 表中の分布地は、文献①及び文献②に記載されている分布地を示す。
- 減少種の地域区分については、第 6.1-45 表を参照。
- 文献①には当時の国 RL 及び県 RDB に基づくランク等が示されているが、文献①発行後に国 RL 及び県 RDB が改正されているため、文献①の記載と本表の記載は必ずしも一致しない。

第 6.1-60 表 注目すべき動物種【無脊椎動物（昆虫類以外）】

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	文献								国 RL	県 RDB	文化財保護法・種の保存法	分布地						
						①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧										
1	軟体動物	腹足	盤足	ウミニナ	ウミニナ	○							○	NT	NT		蒲生干潟						
2				キバウミニナ	フトヘナタリガイ	○								○	○	NT	VU		蒲生干潟				
3				ワカウラツボ	サザナミツボ	○		○						○	○	NT	CR+EN		蒲生干潟				
4				カワザンショウガイ	クリイロカワザンショウガイ											○	NT						
5					ムシヤドリカワザンショウガイ											○	NT						
6					ヒナタムシヤドリカワザンショウガイ	○											NT	NT		蒲生干潟			
7					ヨシダカワザンショウガイ	○											NT	VU		蒲生干潟			
8		二枚貝	カキ	イタボガキ	マガキ		○							○	LP								
9				マルスダレガイ	フナガタガイ	ウネナシトマヤガイ									○	NT							
10					マルスダレガイ	ハマグリ											VU	VU		蒲生干潟			
11					フジノハナガイ	ナミノコガイ										○	NT						
12					ニッコウガイ	サビシラトリガイ				○						○	NT						
13						ヒメシラトリガイ											○	NT					
14						ユウシオガイ					○					○	NT	NT		蒲生干潟			
15						マテガイ	マテガイ									○	○	NT		蒲生干潟			
16						バカガイ	シオフキガイ											DD		蒲生干潟			
17						オオノガイ	オオノガイ					○				○	○	NT	NT		蒲生干潟		
18	環形動物	ゴカイ	サンバゴカイ	ゴカイ	イトメ	○							○	○		NT		蒲生干潟					
19			イトゴカイ	イトゴカイ	シダレイトゴカイ	○		○									NT		蒲生干潟				
20	節足動物	軟甲	ユムシ	ユムシ	ユムシ	○							○	○		VU		蒲生干潟					
21				ヨコエビ	カマカヨコエビ	モリノカマカ	○											DD		蒲生干潟			
22				ワラジムシ	ハマダンゴムシ	ハマダンゴムシ	○											DD		蒲生干潟			
23				エビ	バンケイガニ	アカテガニ	○											○	○	NT		蒲生干潟	
24					モクズガニ	トリウミアカインモドキ	○												VU		蒲生干潟		
25						ハマガニ		○											○		CR+EN		蒲生干潟
26						ムツハリアケガニ	アリアケモドキ	○	○	○		○							○		NT		蒲生干潟
27						スナガニ	スナガニ												○		VU		
28	棘皮動物	ナマコ	無足	イカリナマコ	ヒモイカリナマコ	○												DD		仙台湾沿岸域			
	5門	6綱	11目	21科	28種	20種	2種	4種	0種	4種	1種	10種	19種	14種	22種	0種							

注：1. 種名は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 30 年度生物リスト」（国土交通省、平成 30 年）に従ったが、一部他の文献を参考にした。

2. 表中の文献は以下のとおりである。

- ① 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（宮城県、平成 28 年）
- ② 「平成 27 年度 東北地方太平洋沿岸地域植生・海域等調査調査報告書」（環境省、平成 28 年）
- ③ 「仙台湾海浜県自然環境保全地域学術調査報告書」（宮城県、平成 14 年）
- ④ 「平成 25 年度 七北田川水系河川水辺の国勢調査（魚類調査）業務委託報告書」（株式会社 建設技術研究所、平成 25 年）
- ⑤ 「平成 24 年度 東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査等業務報告書」（環境省自然環境局生物多様性センター、平成 25 年）
- ⑥ 「平成 28 年度 地震災工雑 1430-204 号 七北田川環境調査業務委託報告書」（株式会社建設環境研究所、平成 29 年）
- ⑦ 「みちのくベントス 第 1 号」（みちのくベントス研究所、平成 29 年）
- ⑧ 「2011 年巨大津波が宮城県蒲生潟の地形、植生および底生動物相に及ぼした影響」（日本ベントス学会誌 67:20-32、2012 年）

3. 表中の分布地は、文献①に記載されている分布地を示す。

4. 減少種の地域区分については、第 6.1-45 表を参照。

(3) 注目すべき生息地

「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（仙台市、平成 29 年）では、前出の第 6.1-49 表に示す選定基準により、動物生息地として重要な地域を選定している。調査範囲においては、第 6.1-61 表及び第 6.1-28 図に示す地域が存在するが、計画地は該当しない。

また、「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（宮城県、平成 28 年）によると、蒲生干潟が「宮城県における重要な干潟」として掲載されている。

第 6.1-61 表 動物の生息地として重要な地域

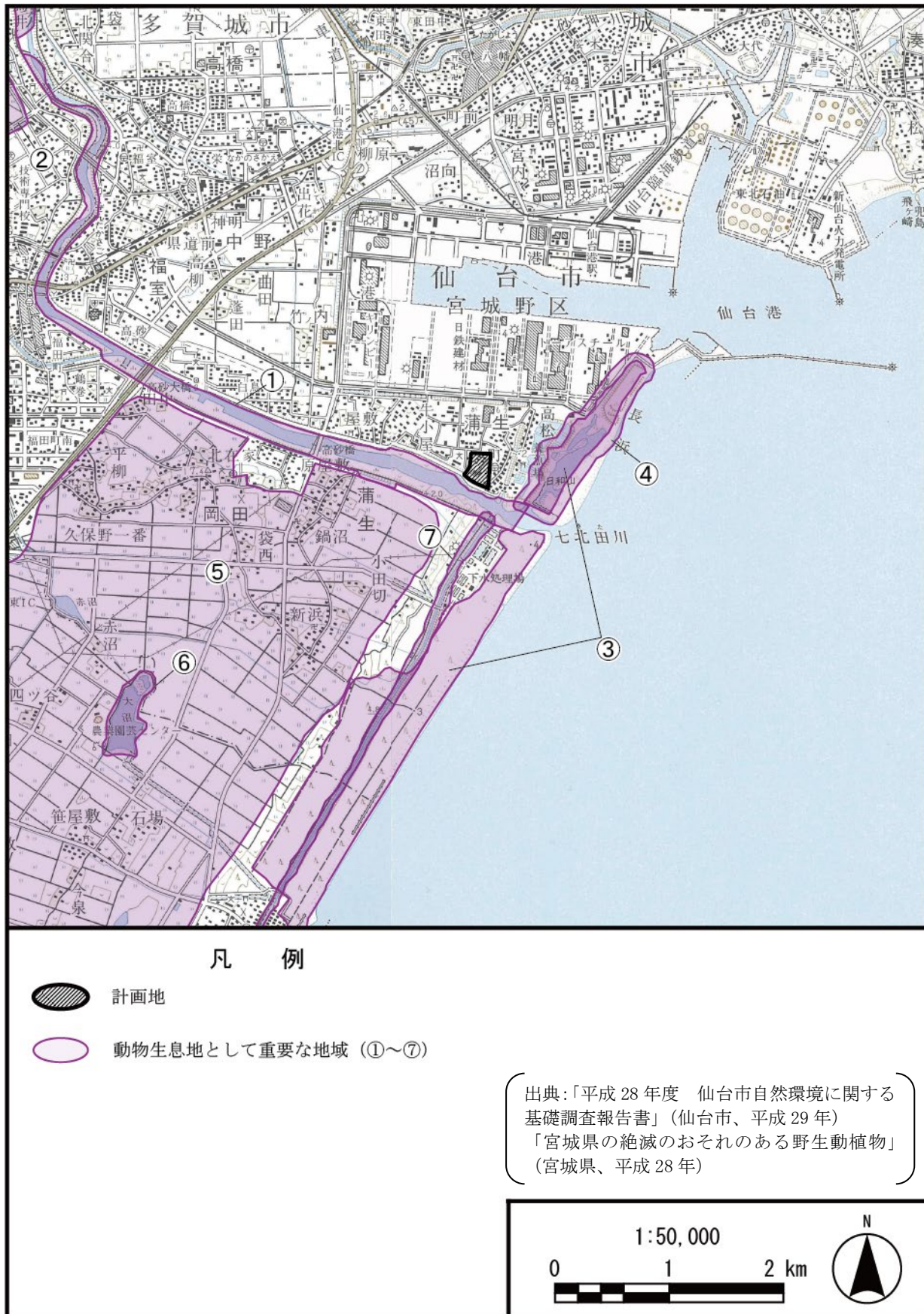
No.	件名	対象動物	備考	判断理由
①	七北田川（中流域～河口）	哺乳類、鳥類	野生動植物のハビタット、生態系回廊（生態系コリドー）として重要。川に接する地域の環境変化が著しく、動物の生息環境・移動経路としての重要性がとて大きくってきている。河川周辺のヨシ原はオオセッカ等希少な鳥類が生息する重要な自然になっている。環境省の東北地方太平洋沿岸地域重要自然マップの重点エリアに含まれる。	2,8
②	福田町の田園	鳥類	市街地に残されたまとまった広がり確保された田園生態系として重要。環境学習のフィールドとして重要。かつてはマガン、その他水鳥の渡来地としての利用もあった。	5,7
③	仙台湾海浜	哺乳類、鳥類、昆虫類	仙台湾海浜県立自然環境保全地域。野生動植物のハビタット、生態系回廊（生態系コリドー）として極めて重要になってきた。環境学習のフィールドとしても重要。海浜性昆虫が震災後に砂浜の拡大とともに増加したが、震災復興工事による砂浜消失等生息環境の悪化が懸念される。環境省の東北地方太平洋沿岸地域重要自然マップの重点エリアに含まれる。	1,4,5,6,8
④	蒲生干潟	鳥類	仙台湾海浜県立自然環境保全地域、仙台海浜鳥獣保護区蒲生特別保護地区。自然度の高い砂洲と潟湖を主体とした河口干潟。野生動植物のハビタット、環境学習のフィールド、生態系回廊（生態系コリドー）として重要。シギ・チドリ類の渡りの中継地、コクガン渡来地。環境省の東北地方太平洋沿岸地域重要自然マップの重点エリアに含まれる。	1,4,5,6,8
⑤	低地の水田地帯	鳥類	野生動植物のハビタット、生態系回廊（生態系コリドー）として重要。セッカの繁殖、ホオアカの繁殖、四郎丸地区はメダカの生息地。居久根は低地における鳥類の生息地及び移動のための中継地として重要。	1,7,8
⑥	荒井の大沼	鳥類	野生動植物のハビタットとして重要。マガン、その他水鳥の渡来地。環境省の東北地方太平洋沿岸地域重要自然マップの重点エリアに含まれる。	4
⑦	貞山運河	潮間帯動物	野生動植物のハビタットとして重要。多様な潮間帯動物の生息。環境省の東北地方太平洋沿岸地域重要自然マップの重点エリアに含まれる。	1,2

注：1. 表中の No. は第 6.1-28 図の番号に対応する。

2. 判断理由は第 6.1-49 表に対応する。

出典：「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（仙台市、平成 29 年）

第 6.1-28 図 動物生息地として重要な地域



3. 生態系

計画地及びその周囲の環境は、地形及び植生の状況から、第 6. 1-62 表のとおり、樹林、乾性草地、湿性草地、河辺・湿原等、市街地等、河川等の 6 つの環境類型に区分される。

第 6. 1-29 図のとおり、調査範囲のうち計画地付近から北の地域には、工場や市街地などが殆どを占めており、計画地付近から南の地域には、主に湿性草地が広がっている。また、河川や沼等の周辺には河辺・湿原等がみられ、樹林は丘陵地や海岸の一部に限られる。

計画地南側の七北田川や東側の蒲生干潟は、植物生育地として重要な地域や動物生息地として重要な地域となっており、計画地東側にある蒲生干潟は、シギ・チドリ類の渡りの中継地点、コクガンの渡来地、干潟生物の生息地となっている。計画地南側の七北田川や計画地東側から海岸沿いに南へ延びる仙台湾海浜は、海岸林も含めて動物の生息場所及び移動経路となっており、ヤマトマダラバッタ等の海浜性昆虫も生息している。

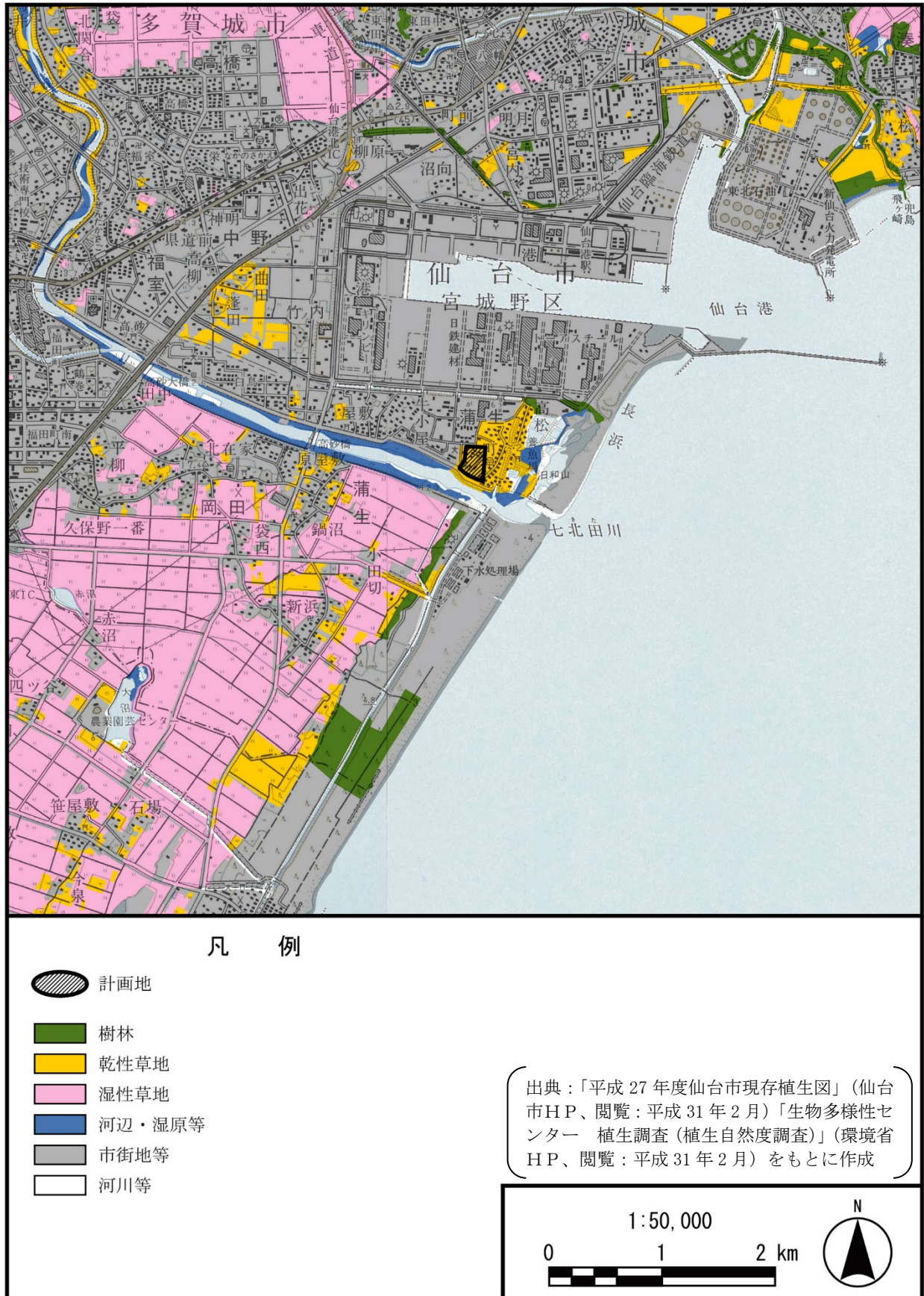
計画地の環境類型は乾性草地であるが、植物生育地として重要な地域や動物生息地として重要な地域には該当しない。植生区分は路傍・空地雑草群落であるが、造成された工業用地であるため人為的な影響を強く受けていると考えられ、動植物の生息・生育基盤としては不安定であり、複雑な食物連鎖は発達していないと考えられる。

第 6. 1-62 表 環境類型区分の概要

類型区分	主な地形	植 生 区 分
樹 林	丘陵地 低 地	オニグルミ群落 (V)、アカマツ群落 (V)、落葉広葉低木群落、タブノキ群落、マサキトベラ群集、クリーコナラ群集、スギ・ヒノキ・サワラ植林、クロマツ植林、ニセアカシア群落、果樹園
乾性草地		ススキ群団 (V)、ゴルフ場・芝地、牧草地、路傍・空地雑草群落、畑地雑草群落
湿性草地		水田雑草群落、放棄水田雑草群落
河辺・湿原等	低 地	ヤナギ低木群落 (IV)、ヨシクラス、ミゾソバーヨシ群落、オギ群集、ヒルムシロクラス、塩沼地植生、砂丘植生、コハマギク群落
市街地等	丘陵地 低 地 その他	市街地、緑の多い住宅地、残存・植栽樹群をもった公園、墓地等、工場地帯、造成地、自然裸地
河川等	河 川 沼	開放水域

注：植生区分は、現存植生図（第 6. 1-25 図参照）の凡例による。

第 6.1-29 図 環境類型区分図



6.1.5 景観及び自然との触れ合いの場の状況

1. 景観

調査範囲における自然景観資源は、第 6.1-63 表のとおり、蒲生干潟、仙台湾砂浜海岸（深沼海岸）及び長浜があり、その位置は第 6.1-30 図のとおりである。また、現地踏査等により確認した歴史的・文化的景観資源は第 6.1-64 表及び第 6.1-31 図のとおりである。なお、計画地にはこれらの地点はない。

第 6.1-63 表 自然景観資源

No.	名称	種類	概要	見られ方	インパクト	保全状況
1	蒲生干潟	湖沼	分類：潟湖、面積 48,000m ² 、湖岸線延長 2,700m	近中	人の立入り、道路開発、周辺の開発	・仙台湾海浜県自然環境保全地域 ・国指定鳥獣保護区特別保護地区
2	仙台湾砂浜海岸（深沼海岸）	砂浜磯浜	分類：砂浜、延長 9.5km、幅 60m 山元町から続く砂浜海岸の一部。名取川河口から七北田川河口まで。砂浜の内陸側には、クロマツ林、貞山掘がある。	近中遠	人の立入り、道路開発、水辺の開発、周辺の開発	・仙台湾海浜県自然環境保全地域
3	長浜	砂浜磯浜	分類：砂浜、延長 1.9km、幅 30m 本山町から続く砂浜海岸の一部。七北田川河口より北。内陸側に蒲生干潟がある。	近中遠	人の立入り、道路開発、水辺の開発、周辺の開発	・仙台湾海浜県自然環境保全地域 ・国設鳥獣保護区

注：位置は第 6.1-30 図を参照。

出典：「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（仙台市、平成 29 年）現地踏査

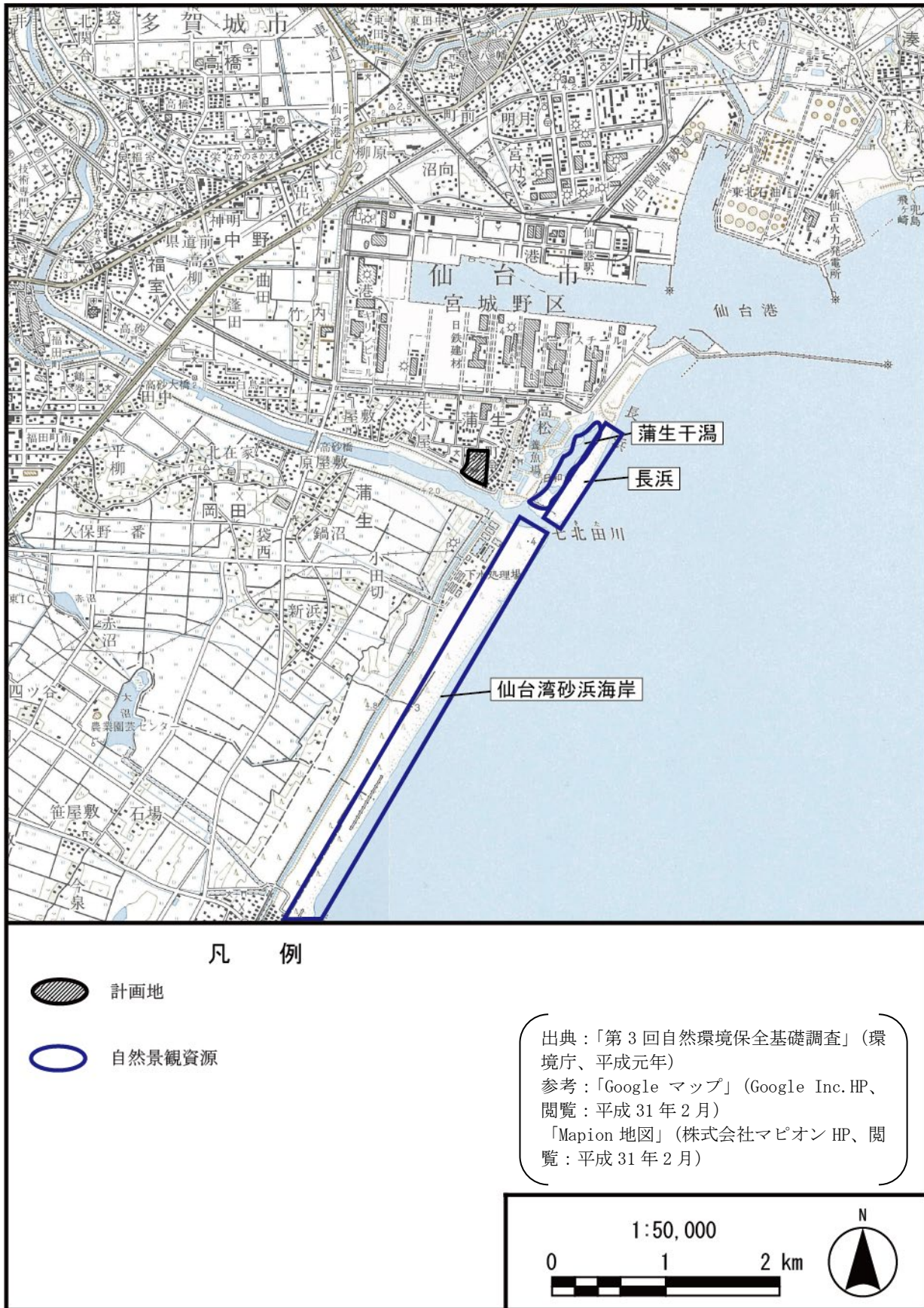
第 6.1-64 表 現地踏査等により確認した歴史的・文化的景観資源

No.	名称	種類	所在地
11	天照大神宮	神社	宮城野区蒲生字八郎兵衛第一 25
12	吉窪神社	神社	宮城野区岡田字浜通 29
13	照徳寺	寺	宮城野区岡田字浜通 36
14	湯殿山神社	神社	若林区荒井笹屋敷 135
15	長楽院不動尊	不動尊	若林区荒井笹屋敷 156
16	湊神社	神社	若林区荒浜新堀端
17	浄土寺	寺	若林区荒浜字西 20
18	なかの伝承の丘	慰霊碑	宮城野区中野西原 152
19	志引の森	不明	多賀城市東田中
20	宝国寺・末の松山	寺	多賀城市八幡 2-8-28
21	沖の井（沖の石）	風景地	多賀城市八幡 2-19
22	喜太郎神社	神社	多賀城市八幡
23	大代横穴墓群	墓群	多賀城市大代 5-8
24	枅形囲貝塚	貝塚	多賀城市大代

注：1. 位置は第 6.1-31 図を参照。

2. No. 18 は現地調査により確認、その他は「(仮称)東部復興道路整備事業環境影響評価方法書」（仙台市、平成 24 年 11 月）、「仙台高松発電所建設計画環境影響評価方法書」（平成 29 年 3 月）を参考とした。

第 6.1-30 図 自然景観資源



第 6.1-31 図 現地踏査等により確認した歴史的・文化的景観資源



2. 眺望点

調査範囲は標高に差の少ない地域である。

計画地を眺望できる主要な眺望点は第 6.1-65 表及び第 6.1-32 図のとおりであり、仙台港中央公園及び向洋海浜公園等がある。

第 6.1-65 表 主要な眺望点

区分	No	名称
公園・レクリエーション施設	1	仙台港中央公園
	2	向洋海浜公園
	3	貞山掘
	4	仙台市農業園芸センター

注：位置は第 6.1-32 図を参照。

出典：1. 「杜の都・仙台 わがまち緑の名所 100 選」(仙台市 HP、平成 14 年 3 月)

2. 「宮城県港湾課、HP」

3. 「みやぎ身近な景観百選」(宮城県、平成 24 年 9 月)

4. 「仙台市 HP、くらしの情報、農林水産業」

3. 自然との触れ合いの場

自然との触れ合いの場（自然公園等）は、第 6.1-66 表及び第 6.1-32 図のとおりであり、仙台港中央公園、向洋海浜公園等がある。なお、計画地には自然との触れ合いの場はない。なお、自然との触れ合いの場は人が集まる場所であることから、主要な眺望点と図を併記した。

第 6.1-66 表 自然との触れ合いの場（自然公園等）

No	名称	概要
1	仙台港中央公園	東北博覧会会場に利用された広大な敷地の仙台港中央公園には、小高い丘があり、展望台になっている。
2	向洋海浜公園	向洋海浜公園は、蒲生干潟隣接地の約 3.2 ヘクタールで、太平洋と蒲生干潟を一望できる高台に位置する。敷地内には、300 台分の舗装駐車場、多目的広場、トイレ及び休憩所がある。
3	仙台市農業園芸センター	市民が農業と緑にふれあう憩いの場として、また、農業及び地場生産物への理解を深める場として、平成元年に開園した。敷地面積は 106,986m ² 。市民農園や芝生広場がある。また、トマト狩りなど、有料での収穫体験なども行っている。
4	長浜	向洋海浜公園の前面前浜から長浜にかけては、サーフィンの適地として全国的に知名度が高く、毎年全国レベルの大会が開催される。また、七北田川の河口付近は潮干狩りで賑わう。
5	蒲生干潟	蒲生干潟の周辺はバードウォッチングを楽しむ愛好家で賑わう。

注：位置は第 6.1-32 図を参照。

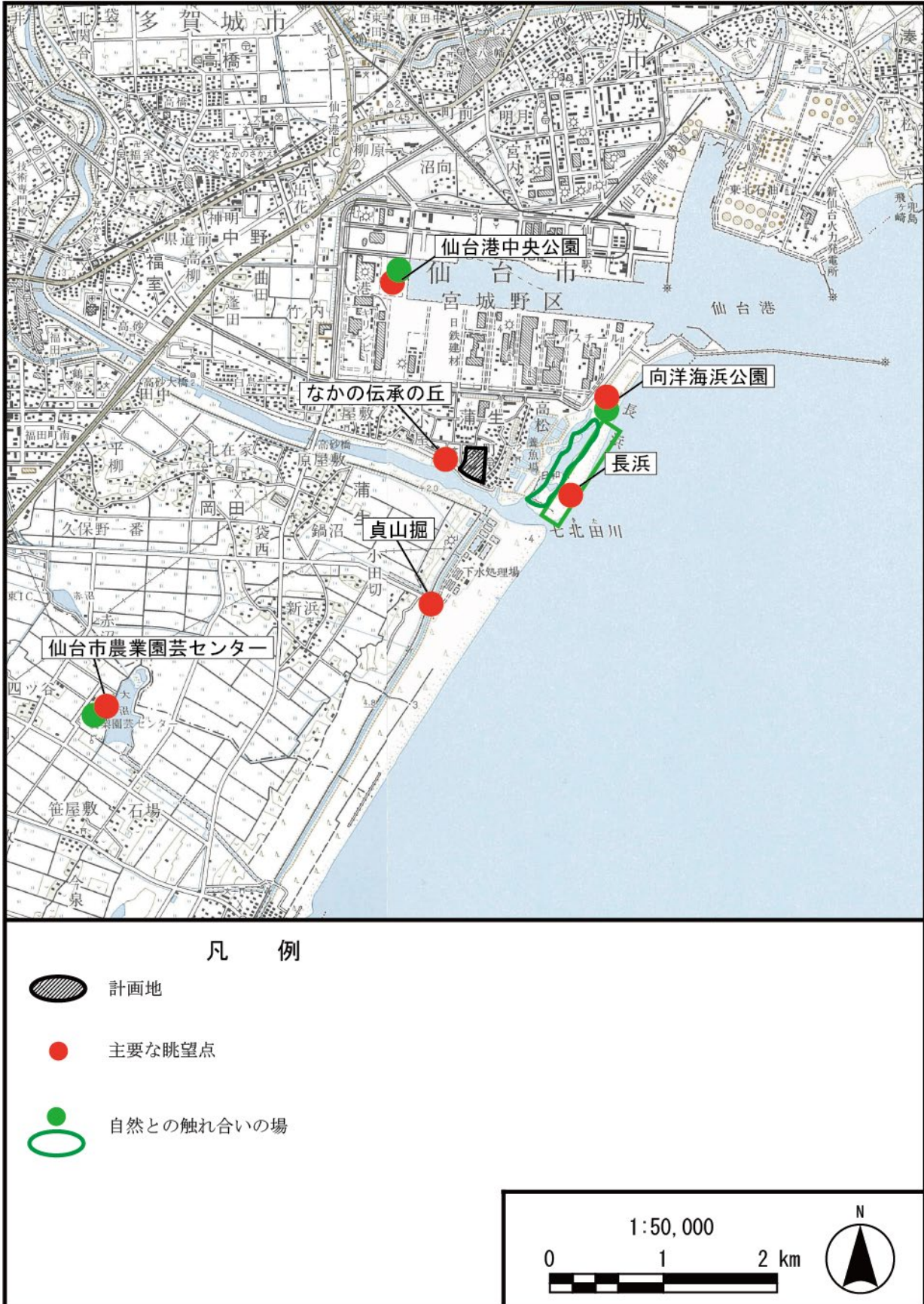
出典：1. 「杜の都・仙台 わがまち緑の名所 100 選」(仙台市 HP、平成 14 年 3 月)

2. 「宮城県港湾課、HP」

3. 「宮城県、蒲生干潟の自然、HP」

4. 「仙台市 HP、くらしの情報、農林水産業」

第 6.1-32 図 主要な眺望点及び人と自然との触れ合いの場



4. 文化財

調査範囲の文化財は、「国指定文化財等データベース」（文化庁、閲覧：平成31年2月）によると第6.1-67表のとおり特別名勝（国指定）の松島等があり、その位置は第6.1-33図のとおりである。なお、県指定、市指定の文化財並びに登録文化財はない。

計画地には、これらの文化財はない。

第6.1-67表 指定文化財の状況（国指定）

番号	種類	名称	所在地	指定年月日
1	特別名勝	特別名勝松島 特別保護区松島	塩竈市、東松島市、七ヶ浜町、 利府町、松島町	昭和27年11月
2	おくのほそ道の風景地（末の松山）	名勝	多賀城市八幡2丁目294番地	平成26年10月
3	おくのほそ道の風景地（興井）	名勝	多賀城市八幡2丁目285番地	平成26年10月

出典：「国指定文化財等データベース」（文化庁、閲覧：平成31年2月）

5. 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）

調査範囲にある埋蔵文化財は第6.1-68表(1)～(2)及び第6.1-33図のとおりである。なお、計画地には埋蔵文化財包蔵地はない。

第6.1-68表(1) 周知の埋蔵文化財

番号	遺跡名	所在地	種別	時代
1	新田遺跡	多賀城市新田・山王・南宮	集落・屋敷・水田	縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世
2	安楽寺遺跡	多賀城市新田字上・字南安楽寺	寺院	古代末～中世
3	大日南遺跡	多賀城市高橋四丁目・高橋字大日北	屋敷・集落	平安・中世
4	大日北遺跡	多賀城市高橋字大日北・高橋四丁目	散布地・墓地・水田	古代・中世・近世
5	山王遺跡	多賀城市山王・南宮・市川	集落・都市・屋敷・水田	弥生・古墳・奈良・平安・中世・近世
6	六貫田遺跡	多賀城市八幡・東田中・高崎	散布地	古代
7	高崎遺跡	多賀城市留ヶ谷・高崎	集落・城館	縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世
8	東田中窪前遺跡	多賀城市東田中一丁目	集落・城館	古代・中世
9	志引遺跡	多賀城市東田中二丁目	散布地・城館	古代・中世・近世
10	八幡館跡	多賀城市八幡二丁目	散布地・城館	古代・中世
11	五平淵板碑群	仙台市宮城野区田子字五平淵38	板碑群	中世
12	堰下遺跡	仙台市宮城野区田子字堰下	散布地	平安
13	堰下板碑群	仙台市宮城野区田子字堰下10	板碑群	中世
14	西光寺板碑群	仙台市宮城野区福室五丁目	板碑群	鎌倉
15	誓渡寺板碑	仙台市宮城野区中野字阿弥陀堂	板碑	中世
16	出花一丁目A板碑群	仙台市宮城野区出花1-152	板碑群	中世
17	出花一丁目B板碑	仙台市宮城野区出花1-155	板碑群	中世
18	出花愛宕神社板碑群	仙台市宮城野区出花1-243	板碑群	中世
19	出花遺跡	仙台市宮城野区出花二丁目	散布地	奈良・平安
20	中野高柳板碑	仙台市宮城野区中野字高柳	板碑	中世
21	中野曲田板碑	仙台市宮城野区中野字曲田56	板碑	中世
22	中野高柳遺跡	仙台市宮城野区中野字高柳ほか	屋敷・散布地	平安・中・近世
23	福室庚板碑	仙台市宮城野区福室字庚1-3	板碑	中世

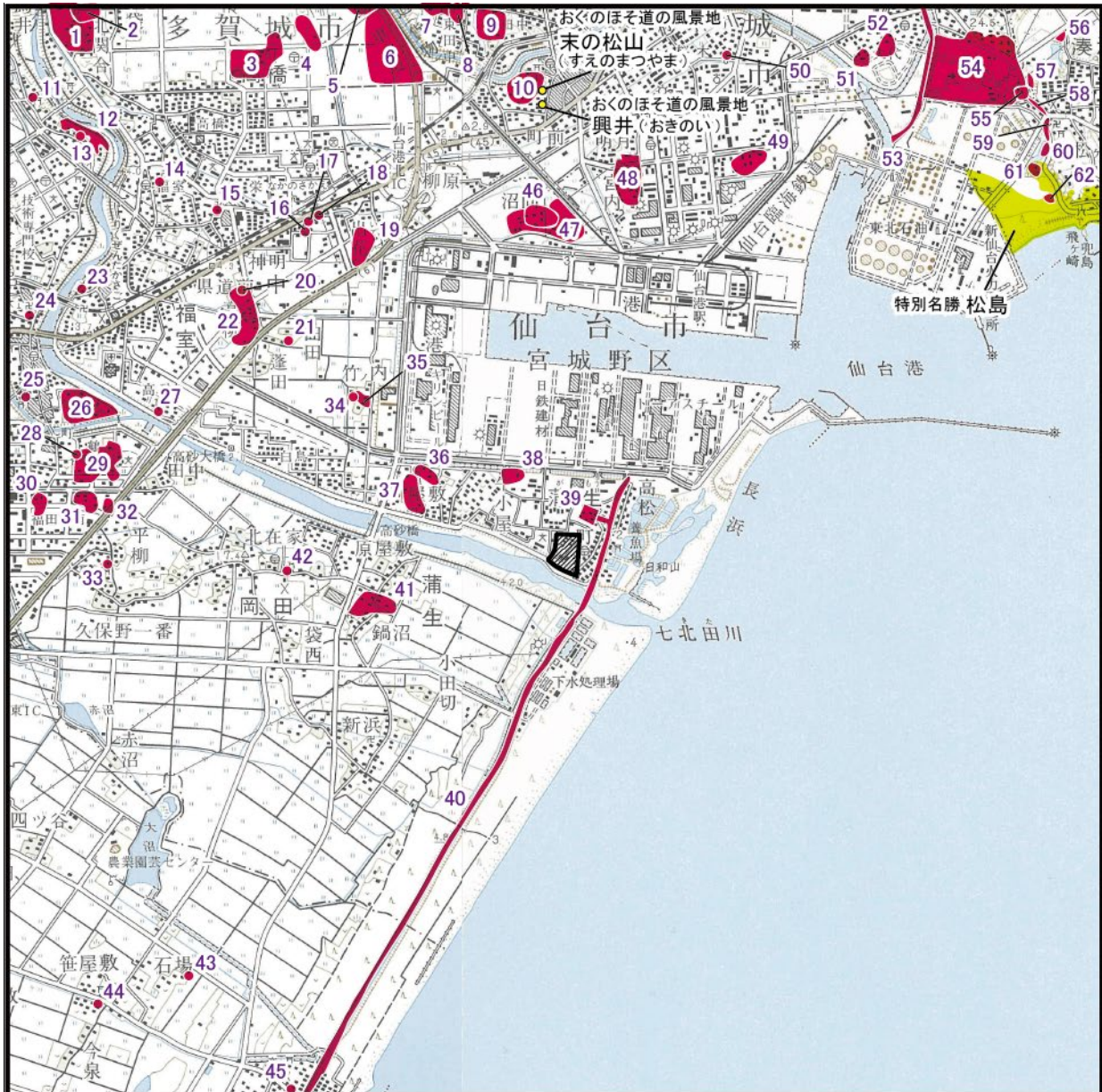
出典：「宮城県遺跡地図情報」（宮城県HP、閲覧：平成31年2月）

第 6.1-68 表(2) 周知の埋蔵文化財

番号	遺跡名	所在地	種別	時代
24	雲洞院板碑	仙台市宮城野区福田町 1-10-25	板碑	中世
25	四野山観音堂板碑	仙台市宮城野区福田町二丁目	福田町遺跡	中世
26	福田町遺跡	仙台市宮城野区福田町二丁目	散布地	平安
27	八鍬八幡神社板碑	仙台市宮城野区高砂 2-18-5	板碑	中世
28	鶴巻熊野神社板碑	仙台市宮城野区鶴巻 1-9-6	板碑	中世
29	鶴巻Ⅰ遺跡	仙台市宮城野区鶴巻一丁目	散布地	平安
30	田子遺跡	仙台市宮城野区田子字三反ほか	散布地	平安
31	鶴巻Ⅱ遺跡	仙台市宮城野区鶴巻二丁目	散布地	平安
32	小原遺跡	仙台市宮城野区福室字小原	散布地	平安
33	福室住吉神社板碑群	仙台市宮城野区福室字平柳 82	板碑群	中世
34	耳取観音堂板碑	仙台市宮城野区蒲生字竹ノ内 31-1	板碑	中世
35	竹ノ内遺跡	仙台市宮城野区蒲生字竹ノ内	散布地	平安
36	牛小舎遺跡	仙台市宮城野区蒲生一丁目	散布地	奈良・平安
37	和田織部館跡	仙台市宮城野区蒲生一丁目	屋敷	近世
38	西原遺跡	仙台市宮城野区蒲生二丁目	散布地	奈良・平安
39	蒲生御蔵跡	仙台市宮城野区北荒田	米蔵	近世
40	貞山堀	仙台市宮城野区蒲生～若林区荒浜・井土ほか	運河	近世
41	田母神屋敷跡 (二瓶屋敷)	仙台市宮城野区蒲生字鍋沼	屋敷	近世
42	岡田神明社板碑群	仙台市宮城野区岡田字寺袋浦 47-1	板碑群	中世
43	荒浜石場板碑群	仙台市若林区荒浜字石場 8	板碑群	中世
44	笹屋敷板碑	仙台市若林区荒井字笹屋敷	板碑	室町
45	荒浜北丁板碑群	仙台市若林区荒浜字北丁 4	板碑群	中世
46	遠藤館跡	仙台市宮城野区中野字沼向	城館・屋敷・集落	古墳・中世・近世
47	沼向遺跡	仙台市宮城野区中野字沼向	古墳・集落・水田	弥生・古墳・平安
48	八幡沖遺跡	多賀城市宮城野区内一丁目	集落	平安・近世
49	東原遺跡	多賀城市栄三丁目	散布地	古代
50	桜木遺跡	多賀城市桜木 2 丁目	城館?	不明
51	西原遺跡	多賀城市大代一丁目	散布地	古代
52	元舟場遺跡	多賀城市大代一丁目	散布地・集落	古代・中世
53	貞山堀	多賀城市大代	運河	近世
54	新田前貝塚	七ヶ浜町湊浜字柵形	貝塚	古代
55	柵形囲貝塚	多賀城市大代六丁目	貝塚	縄文・弥生・古代
56	林崎貝塚	七ヶ浜町松ヶ浜字新林崎	貝塚・製塩	縄文晩・弥生
57	柵形囲横穴墓群	七ヶ浜町湊浜字柵形	横穴墓群	古墳後
58	砂山横穴墓群	七ヶ浜町湊浜字砂山	横穴墓群	古墳
59	薬師堂横穴墓群	七ヶ浜町湊浜字砂山・船戸	横穴墓群	古墳後
60	弁天 A 遺跡	七ヶ浜町湊浜字弁天	散布地	古代
61	弁天 B 遺跡	七ヶ浜町湊浜字弁天	散布地	古代
62	弁天 C 遺跡	七ヶ浜町湊浜字弁天	散布地	古代

出典：「宮城県遺跡地図情報」（宮城県 HP、閲覧：平成 31 年 2 月）

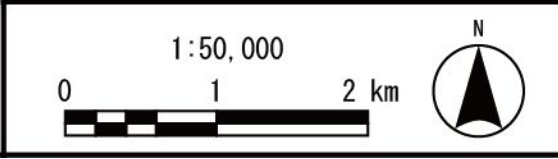
第 6.1-33 図 文化財等



凡 例

-  計画地
-  特別名勝 (国指定)
-  名勝 (国指定)
-  埋蔵文化財包蔵地

出典：「国指定文化財等データベース」(文化庁、閲覧：平成 31 年 2 月)
 「宮城県遺跡地図情報」(宮城県 HP、閲覧：平成 31 年 2 月)



6. 公園

調査範囲にある公園(都市公園等)は第 6. 1-69 表～第 6. 1-71 表及び第 6. 1-34 図のとおりである。

市街地等に公園が整備されており、市民の身近な自然との触れ合いの場になっている。なお、仙台市宮城野区の海岸部の公園は災害復旧工事が行われ、利用可能部分が拡大しつつある。なお、計画地には公園はない。

第 6. 1-69 表(1) 仙台市公園一覧(都市公園等)

番号	名称	所在地
1	七北田川田子緑地	仙台市宮城野区田子字五平沢 1-1 外
2	田子小原公園	仙台市宮城野区田子 3 丁目 111-4
3	上田子 2 号公園	仙台市宮城野区田子 3 丁目 507
4	田子二丁目北公園	仙台市宮城野区田子 2 丁目 6-4
5	田子二丁目公園	仙台市宮城野区田子 2 丁目 40-1
6	田子要害東公園	仙台市宮城野区田子 1 丁目 252-1
7	田子要害西公園	仙台市宮城野区田子字要害 254-9
8	田子一丁目北公園	仙台市宮城野区田子 1 丁目 490-17 外
9	田子一丁目南公園	仙台市宮城野区田子 1 丁目 1001-26
10	扇町六丁目公園	仙台市宮城野区扇町 6 丁目 5-1
11	町浦公園	仙台市宮城野区福田町 2 丁目 365
12	福田町砂押公園	仙台市宮城野区福田町 2 丁目 1224
13	福田町四丁目公園	仙台市宮城野区福田町 4 丁目 5-1
14	福田町南一丁目公園	仙台市宮城野区福田町南 1 丁目 1007
15	岡田西町公園	仙台市宮城野区岡田西町 2
16	七北田川鶴巻緑地	仙台市宮城野区鶴巻 1 丁目 1023
17	鶴巻一丁目東公園	仙台市宮城野区鶴巻 1 丁目 1006-1
18	鶴巻一丁目西公園	仙台市宮城野区鶴巻 1 丁目 1010-1
19	田中前二番公園	仙台市宮城野区福室字田中前二番 1-12
20	田中東一番公園	仙台市宮城野区福室字田中東一番 14-8
21	福室上町北公園	仙台市宮城野区福室 6 丁目 29-1
22	福室上町東公園	仙台市宮城野区福室 5 丁目 220-1 外
23	福室上町南公園	仙台市宮城野区福室 3 丁目 9-2
24	福室半在家公園	仙台市宮城野区福室 3 丁目 407-3 外
25	福室公園	仙台市宮城野区福室 5 丁目 601-70
26	福室境公園	仙台市宮城野区福室 7 丁目 1-42
27	福室寺前公園	仙台市宮城野区福室 5 丁目 36-9
28	福室四丁目公園	仙台市宮城野区福室 4 丁目 90-3
29	福室要谷公園	仙台市宮城野区福室 4 丁目 28-4 外
30	福室要谷 2 号公園	仙台市宮城野区福室 4 丁目 30-7 外
31	仙台港背後地 9 号公園	仙台市宮城野区福室字県道前 58 の一部外
32	仙台港背後地 8 号公園	仙台市宮城野区福室字県道前 95 外
33	福室二丁目公園	仙台市宮城野区福室 2 丁目 34-20

出典：「せんだいぐらしのマップ」(仙台市 HP、閲覧：平成 31 年 2 月)

第 6.1-69 表(2) 仙台市公園一覧（都市公園等）

番号	名称	所在地
34	高砂駅西公園	仙台市宮城野区福室 2 丁目 7-8 外
35	高砂公園	仙台市宮城野区福室 1 丁目 46-17 外
36	高砂二丁目緑地	仙台市宮城野区高砂 2 丁目 26-2
37	高砂一丁目西公園	仙台市宮城野区高砂 1 丁目 18-8
38	高砂二丁目向田公園	仙台市宮城野区高砂 2 丁目 8-3
39	高砂緑地	仙台市宮城野区高砂 1 丁目 32 外
40	高砂一丁目公園	仙台市宮城野区高砂 1 丁目 23-1
41	出花一丁目公園	仙台市宮城野区出花 1 丁目 12-4
42	出花二丁目公園	仙台市宮城野区出花 2 丁目 7-9
43	出花三丁目公園	仙台市宮城野区出花 3 丁目 26-9
44	宿在家公園	仙台市宮城野区栄 3 丁目 5-8
45	福在公園	仙台市宮城野区栄 2 丁目 7-6
46	栄公園	仙台市宮城野区栄 4 丁目 4-1
47	栄東公園	仙台市宮城野区栄 4 丁目 20-5
48	栄五丁目公園	仙台市宮城野区栄 5 丁目 15
49	出花西公園	仙台市宮城野区栄 4 丁目 10-7
50	栄一丁目公園	仙台市宮城野区栄 1 丁目 85-3
51	中野向田公園	仙台市宮城野区白鳥 1 丁目 177-1 外
52	白鳥一丁目公園	仙台市宮城野区白鳥 1 丁目 265-3 外
53	蒲生土手前 2 号公園	仙台市宮城野区白鳥 1 丁目 5-2 外
54	蒲生土手前 3 号公園	仙台市宮城野区白鳥 1 丁目 15-6
55	蒲生蓬田前公園	仙台市宮城野区白鳥 1 丁目 560-6
56	蒲生土手前公園	仙台市宮城野区白鳥 1 丁目 109-01
57	耳取西公園	仙台市宮城野区白鳥 2 丁目 48-19
58	耳取公園	仙台市宮城野区白鳥 2 丁目 528
59	耳取 2 号公園	仙台市宮城野区白鳥 2 丁目 96-11
60	港南西公園	仙台市宮城野区蒲生字南屋ヶ城 1-27 外
61	港南東公園	仙台市宮城野区蒲生字南城道田 5-4 外
62	蒲生雑子袋北公園	仙台市宮城野区蒲生字雑子 5-26
63	南蒲生公園	仙台市宮城野区蒲生字雑子袋 4-20 外
64	上屋倉公園	仙台市宮城野区蒲生字上屋倉 24-39
65	中野北上公園	仙台市宮城野区中野字北上 44-3
66	出花西 2 号公園	仙台市宮城野区中野字出花西 90-13
67	仙台港背後地 7 号公園	仙台市宮城野区中野字神明 175-4 の一部外
68	海岸公園	仙台市宮城野区岡田、若林区荒浜等
69	仙台港中央公園	仙台市宮城野区港 2 丁目 5
70	向洋海浜公園	仙台市宮城野区中野（港 1 丁目方面）

出典：「せんだいくらしのマップ」（仙台市 HP、閲覧：平成 31 年 2 月）

第 6.1-70 表(1) 多賀城市公園一覧（都市公園等）

番号	名称	所在地
1	南安楽寺公園	多賀城市新田南安楽寺 12-16 付近
2	新田 2 号公園	多賀城市新田南関合 5 付近
3	新田 3 号公園	多賀城市新田南関合 16 付近
4	新田 4 号公園	多賀城市新田北関合 5 付近
5	南関合西公園	多賀城市新田南関合 22-12 付近
6	冠公園	多賀城市新田南関合 35 付近
7	北関合公園	多賀城市新田北関合 79-31 付近
8	南関合公園	多賀城市新田南関合 39-15 付近
9	高橋公園	多賀城市高橋 4 丁目 23 付近
10	高橋 1 号公園	多賀城市高橋 2 丁目 20
11	小深町公園地（高橋 2 号公園）	多賀城市高橋 5 丁目 20
12	高橋 3 号公園	多賀城市高橋 1 丁目 12
13	高橋 4 号公園	多賀城市高橋 3 丁目 13
14	高橋 5 号公園	多賀城市高橋 3 丁目 7
15	高橋 6 号公園	多賀城市高橋 1 丁目 2
16	高橋 7 号公園	多賀城市高橋 1 丁目 16
17	高橋 9 号公園	多賀城市高橋 3 丁目 5
18	高橋 10 号公園	多賀城市高橋 2 丁目 13
19	高橋前田公園	多賀城市高橋 1 丁目 20
20	門間田公園	多賀城市高橋 3 丁目 2
21	新門間田公園	多賀城市高橋 3 丁目 2
22	大日南公園	多賀城市高橋 4 丁目 12
23	奈賀済公園	多賀城市高橋 5 丁目 3
24	浜居場公園	多賀城市高橋 5 丁目 8
25	志引北公園	多賀城市東田中 1 丁目 22
26	志引中公園	多賀城市東田中 1 丁目 19
27	志引南公園	多賀城市東田中志引 174-3 付近
28	志引公園	多賀城市東田中 2 丁目 30
29	窪前公園	多賀城市東田中 1 丁目 12
30	窪前東公園	多賀城市東田中 2 丁目 12
31	舟橋公園	多賀城市東田中 2 丁目 40
32	宮前公園	多賀城市八幡 2 丁目 1
33	宮前東公園	多賀城市八幡 2 丁目 14
34	八幡 1 号公園	多賀城市八幡 3 丁目 15
35	八幡 2 号公園	多賀城市八幡 2 丁目 24
36	八幡 4 号公園	多賀城市八幡 2 丁目 4
37	築道公園	多賀城市八幡 1 丁目 4
38	都石公園	多賀城市八幡 4 丁目 7-60 付近
39	駅前広場	多賀城市中央 2 丁目 7

出典：「せんだいくらしのマップ」（仙台市 HP、閲覧：平成 31 年 2 月）

「多賀城市建设部道路公園課へのヒアリング」（多賀城市、平成 29 年 6 月） 等

第 6.1-70 表(2) 多賀城市公園一覧（都市公園等）

番号	名称	所在地
40	町前公園	多賀城市町前 2 丁目 1-21 付近
41	明月公園	多賀城市明月 1 丁目 9
42	明月 2 号公園	多賀城市明月 1 丁目 2
43	塩留公園	多賀城市桜木 1 丁目 2
44	上屋敷公園	多賀城市桜木 2 丁目 5
45	上谷地岸公園	多賀城市桜木 2 丁目 6
46	下谷地岸公園	多賀城市桜木 2 丁目 7
47	塩入公園	多賀城市桜木 2 丁目 6
48	桜木公園	多賀城市桜木 3 丁目 3
49	県営多賀城八幡住宅内公園	多賀城市桜木 3 丁目 10
50	中財公園	多賀城市栄 1 丁目 1-106 付近
51	仙台港多賀城地区緩衝緑地公園	多賀城市大代 1 丁目 16-1
52	はしもとつつみ公園	多賀城市大代 5 丁目 6
53	橋本公園	多賀城市大代 5 丁目 8

出典：「せんだいくらしのマップ」（仙台市 HP、閲覧：平成 31 年 2 月）

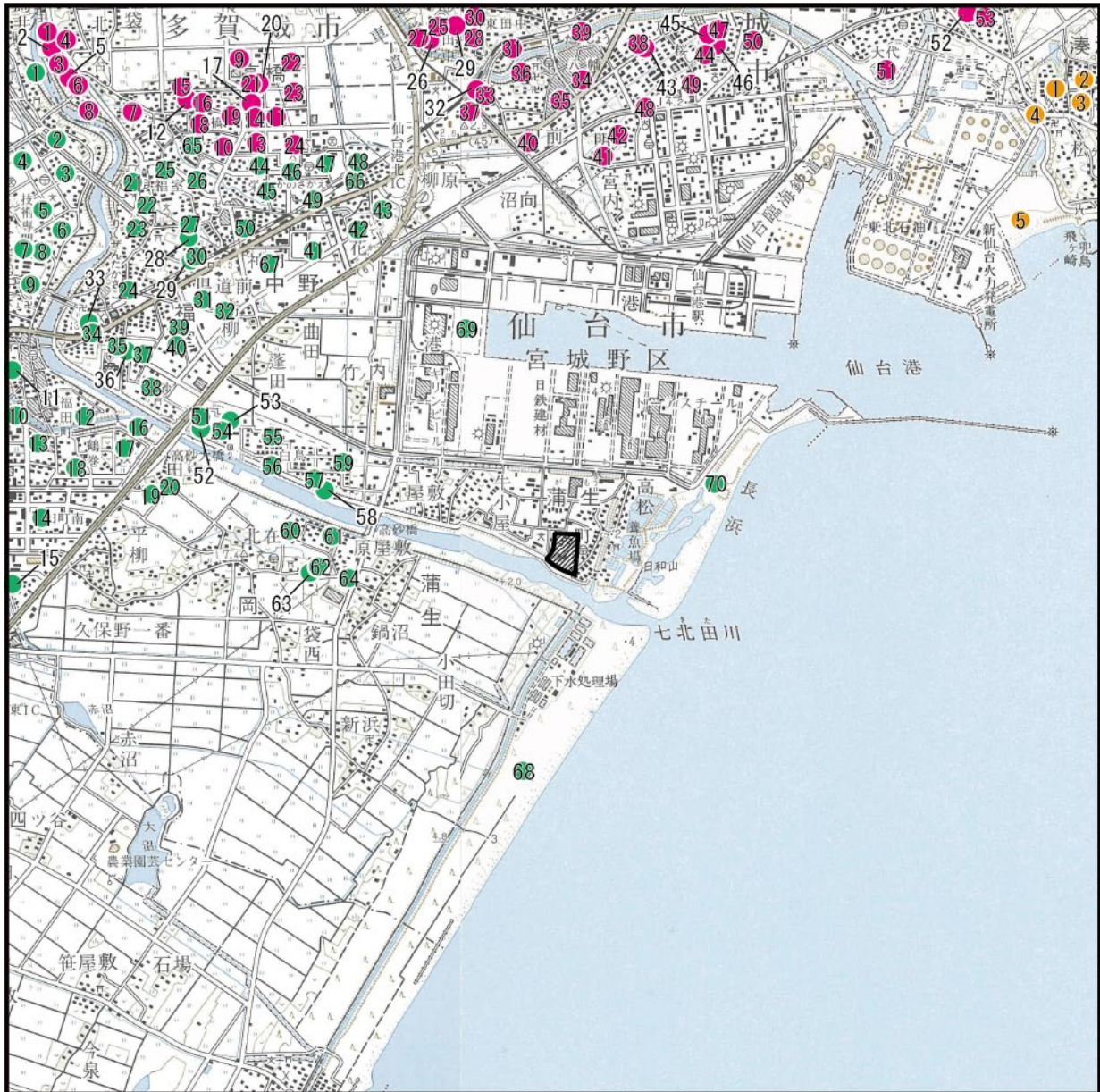
「多賀城市建設部道路公園課へのヒアリング」（多賀城市、平成 29 年 6 月） 等

第 6.1-71 表 七ヶ浜町市公園一覧（都市公園等）

番号	名称	所在地
1	湊浜海浜緑地	宮城郡七ヶ浜町湊浜砂場
2	一本松公園	宮城郡七ヶ浜町松ヶ浜謡 28
3	謡地区児童遊園	宮城郡七ヶ浜町松ヶ浜謡 31（※仮設住宅がある）
4	砂山公園	宮城郡七ヶ浜町湊浜砂山
5	湊浜児童公園	宮城郡七ヶ浜町湊浜 2 丁目 3

出典：「国土情報ウェブマッピングシステム」（国土交通省 HP、閲覧：平成 31 年 2 月）

第 6.1-34 図 公園



凡 例

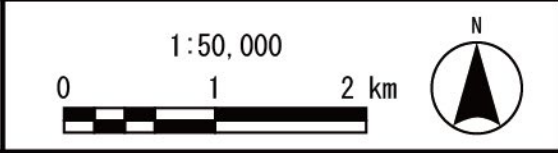


計画地

公園

- 仙台市
- 多賀城市
- 七ヶ浜町

出典：「せんだいぐらしのマップ」（仙台市 HP、閲覧：平成 31 年 2 月）
 「国土情報ウェブマッピングシステム」（国土交通省 HP、閲覧：平成 31 年 2 月）
 「多賀城市建設部道路公園課へのヒアリング」（多賀城市、平成 29 年 6 月） 等



6.1.6 その他の状況

計画地は蒲生北部土地区画整備事業の整備地内にあり、東側は整備用地が広がっており、南側は道路・堤防を隔てて七北田川が存在する。また、計画地の北側は、計画道路を隔てて、東西方向に既存事業所が多数存在する。また、計画地の西側は蒲生北部第2公園を隔てて、区画整備事業地が広がっているが、西側敷地境界から約500に人家が数戸存在する。また、計画地の周辺には田畑は存在しない。

1. 電波障害

「放送サービス高度化推進協会 HP」（閲覧：平成31年2月）によると、地上デジタルテレビ放送の中継局は宮城県仙台市太白区の大年寺山にある。

本事業によって電波を遮られる構造物としては排気筒（高さ59m）及びボイラー（高さ56m）等があるが、敷地境界から建物高さの2倍である約120m以内には保全対象（人家及び事務所）は存在しない。

2. 日照障害

本事業により日陰の影響を受ける保全対象（人家や田畑）は存在しない。

3. 風害

本事業により設置される構造物による風害の影響が及ぶ範囲に保全対象は存在しない。